





海軍生徒手當金支給細則

- 第一條 手當金ハ生徒ヲ命シタル日ヨリ候補生ヲ命シタル前日マテ之ヲ給ス死亡若クハ生徒ヲ免シタルトキハ其當日マテ之ヲ給ス
- 第二條 傷疾疾病ニ罹リ入院スル者若クハ昇校セサル者ニハ其當日ヨリ歸校若クハ昇校ノ前日マテ手當金規則第三條ニ依リ手當金ヲ給ス
- 第三條 處刑罰留置收禁拘留逃亡逃傳送中ノ者其他事故ヲ以テ在校若クハ昇校セサル者ニハ其當日ヨリ歸校若クハ昇校ノ前日マテ手當金ヲ給セス
- 第四條 生徒懲戒則ニ依リ處分シタル者ニハ手當金ヲ給セサルノ限ニ在ラス
- 第五條 手當金規則第五條ニ依リ既ニ給與シタル手當金ヲ償還セシムルニハ生徒ヲ免シタル當日ヨリ三十日限リ身元引受人ヲシテ償還セシムルモノトス
- 第六條 手當金規則第七條ニ依リ兵學校生徒ニ被服費ヲ給スルハ其亡失シタル被服ノ價格五圓以上ノモノニ限リ現費ヲ以テ之ヲ給ス但被服費ヲ給スルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第六條 手當金ハ翌月五日マテニ所屬ノ校ニ於テ前月分ノ金額ヲ給ス但生徒ヲ罷メタルトキハ其際之ヲ給ス

○海軍省第四百六十號

佐世保鎮守府定員表中知港事副知港事欄内二等兵曹一等水兵二等水兵ノ定員ヲ左ノ通改正シニ

- 二等兵曹 二
- 一等水兵 六

海軍大臣伯爵西鄉從道

明治二十二年十二月七日

○海軍省第四百六十一號

十

各鎮守府藥品療用品ノ毎年購買高及毎年十二月三十一日ノ現在高並ニ藥品療用品購買手續第五條ニ依リ艦船ニ於テ購入シタル品名購買高及代價ハ左表ニ依リ翌年一月二十日迄ニ主計部病院課ヨリ中央衛生會議ニ報告スヘシ

明治二十二年十二月七日

海軍大臣伯爵西鄉從道

藥品		療用品	
品名	十二月三十一日現在高	品名	十二月三十一日現在高
何々	何何何何何氏	何々	何何何何何氏
	程	何	程
	何何何何何氏	何	程
	何	何	程

藥品療用品購買手續第五條ニ依リ艦船ニ於テ購入シタル藥品療用品

品名	一箇年購買高	代	價	一箇年購買高	代	價
何	何何何何何氏	何	程	何	程	何
ハ何何何何何氏	何	何	程	何	程	何
ハ何何何何何氏	何	何	程	何	程	何

○海軍省第四百六十二號

海軍各廳處務通則中第十條ヲ刪除ス

明治二十二年十二月七日

海軍大臣伯爵西鄉從道



○海軍省達第四百六十三號

下士卒定員補充規則ニ左ノ通追加ス

明治二十二年十二月七日

海軍大臣伯爵西郷從道

第五條ニ各艦ニ於テ掌砲兵掌水雷兵又ハ教員ノ補充ヲ要スルモ本管ニ於テ之ヲ得難ク必要缺クヘカヲサル場合ニ於テハ各艦長軍港司令官ヲ經由シ共事由ヲ鎮守府司令長官ニ具申スヘシ  
鎮守府司令長官前項ノ具申ヲ受ケタルトキハ之ヲ他鎮守府司令長官ニ協議シ他管ノ者ヲ以テ補充セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ本管ノ補充兵ヲ得タルトキ其本籍海兵團ニ復隊セシムヘシ

○海軍省達第四百六十四號

雇員備人採用規則第二條中及雇員備人職工人夫給與規則備人日給表中用水場番人ノ次ニ「殿浦炭庫番」ノ五字ヲ追加ス

明治二十二年十二月七日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第四百六十五號

海軍火藥工廠處務細則第十五條第三項ヲ左ノ通改正シ第十六條第五項中「人夫」ノ上ニ「職工」ノ二字ヲ加フ

明治二十二年十二月十日

海軍大臣伯爵西郷從道

○陸軍省達第四百七十八號

軍隊手帳檢査自今廢止ス

明治二十二年十二月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省達第四百七十九號

陸軍給與規則第二章第一表備考中輜重輸卒ノ下ニ「及助卒」ノ三字ヲ追加ス

明治二十二年十二月十三日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省達第四百八十號

明治二十二年十一月十一日陸軍省達第四百六十三號陸軍病院條例第三十五條第一項中「内一名」ノ下ニ「對馬衛戍」ノ別註九字ヲ追加ス

明治二十二年十二月十三日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省達第四百八十一號

銃劔衛用小銃分配表別紙ノ通定ス (別紙略)

明治二十二年十二月十七日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省達第四百六十六號

海軍軍人俸給及手當金支給細則中左ノ通改正追加ス

明治二十二年十二月二十日

海軍大臣伯爵西郷從道

第一條及第十五條中別註ヲ「十二月ハ二十五日又休暇」ト改ム

第六條ニ左ノ一項ヲ加フ

休職者若クハ停職者豫備後備或ハ退役ヲ命セラレタルトキ其俸給支給ノ終日ハ前二項ニ同シ

第十二條ヲ左ノ通改正ス

甲屬ヨリ乙屬ニ轉スルトキハ退職ノ日マテ第一條ノ支給定日ニ拘ラス前屬ニ於テ支給シ第三條乃至第九條及第十四條ノ場合ニ於テハ各本條ノ區分ニ從ヒ第一條ノ支給定日ニ拘ラス其際



所轄職若クハ借用職ニ於テ支給ス  
第十八條ヲ左ノ通改正ス

下士卒ノ俸給ハ毎月末日ニ限リ十二月ハ二十五日又休職其月ノ日數ニ應シ各所轄職ニ於テ之ヲ支給ス但工業職ニ勤務スル技工工夫ノ俸給ハ翌月十日マテニ支給シ十二月ニ限リ二十五日マテノ分ヲ其月末日マテニ支給スルコトヲ得

第十九條中「入營當日」ノ下ニ「入營セサル者ハ辭令ノ割註ヲ加フ  
其本人ニ到達ノ日」

第二十一條第一項中「歸職」ヲ「退院」ト改ム

第二十六條中「各本條ニ照シ以下」各本條ノ區分ニ從ヒ第十八條ノ支給定日ニ拘ラス其際所轄職若クハ借用職ニ於テ支給スルコトキ左ノ一項ヲ加フ

逃亡中送籍ノ所轄職ヲ轉スルトキ支給スヘキ金額アルトキハ後職ニ於テ支給ス  
第二十八條第三項中前日「ヲ當日」ト改ム

第三十二條ヲ左ノ通改正ス

手當金ハ毎月末日ニ限リ十二月ハ二十五日又休職其月ノ日數ニ應シ但工業職ニ勤務スル技工工夫ノ手當金ハ翌月十日マテニ支給シ十二月ニ限リ二十五日マテノ分ヲ其月末日マテニ支給スルコトヲ得  
免官免役死亡其他服務場所ニ異動アルトキハ前項ノ支給定日ニ拘ラス其際支給ス

下士卒逃亡中送籍ノ所轄職ヲ轉スルトキ支給スヘキ金額アルトキハ後職ニ於テ支給ス

第三十四條第六項中「官船」ヲ「艦船」官有船舶ト改メ「退船」ヲ「退艦」ト改ム

第三十八條中「熱帶地方ニ於テハ」以下ヲ「又熱帶地方ニ於テ艦船ノ汽爐ニ點火スルトキ汽爐部ノ事業ニ從事スル乗組機關手火夫其他ノ下士卒ニ之ヲ支給ス」ト改ム

○海軍省第四百六十七號

下士卒食糧給與規則第九條中十分ノ一ヲ十分ノ三ニ改ム

明治二十二年十一月二十日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百六十八號

砲術練習艦甲種教練長教練道加科目第三項中「電路ノ抵抗力測定」ノ八字ヲ刪除ス

明治二十二年十一月二十日

海軍大臣伯爵西郷從道

明治二十二年十一月二十日  
但明治七年十一月三號第七號布達ハ廢止ト心得ヘシ

海軍大臣伯爵西郷從道

○宮内省第二十四號  
宮内省准官吏恩給例ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十二年十二月二十一日

宮内大臣子爵土方久元

奉 勅

第一條 宮内省准官吏(宮内省官制ニ於テ特ニ指定シタ)恩給ハ退官現時ノ俸額ニ依ル共給額ハ奉職滿十五年ニシテ俸給年額五分ノ一即チ四分ノ八十トシ爾後滿一年毎ニ四分ノ一ヲ加ヘ滿三十五年ニ至リ四百分ノ百即チ俸給年額ノ四分ノ一ニ至テ止ム  
但公務ニ依リ重傷ヲ負ハ若クハ不治ノ病ニ罹リ在職十五年未滿ニシテ終身恩給ヲ支給スルコトアルトキハ其給額ハ俸給年額四百分ノ八十二當ルノ額ヲ以テス

明治二十二年十二月 海軍省第四百六十八號 宮内省第二十四號







衣	式		下	地	鈕	衣	袴		帽		劔
	領章	肩章					製	地	製	地	
電紋金線二條ヲ付シ内ニ菊模樣ニ枝ヲ金線ニ其兩端前部ノ左右ヨリ各一幹ヲ起シ	山田金線二條ヲ付シ内ニ菊模樣ニ枝ヲ金線ニ其兩端前部ノ左右ヨリ各一幹ヲ起シ	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	金製五七ノ桐徑五分トメ附離二寸	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺五寸高サ凡四寸五分ト定ム	深黒紺羅紗	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ
太サ徑四分ノ金線二條ヲ割合ス長サ凡ソ四寸五分ト定ム	四寸五分ト定ム	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺五寸高サ凡四寸五分ト定ム	深黒紺羅紗	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ	同上
少シク前部ヲ加フ上ニ付テ金線ニ金製	五七ノ桐徑七分五厘ノ鉞釦ヲ以テス	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺五寸高サ凡四寸五分ト定ム	深黒紺羅紗	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ	同上
後部ニ至リ兩端相對ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

圖樣ハ明治十七年十月二十九日達侍從式部兩職勅奏任官大禮服制ニ同シ

東宮職勅奏官小禮服徽章表

衣	式		下	地	鈕	衣	袴		帽		劔
	領章	肩章					製	地	製	地	
電紋金線二條ヲ付シ内ニ菊模樣ニ枝ヲ金線ニ其兩端前部ノ左右ヨリ各一幹ヲ起シ	山田金線二條ヲ付シ内ニ菊模樣ニ枝ヲ金線ニ其兩端前部ノ左右ヨリ各一幹ヲ起シ	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	金製五七ノ桐徑五分トメ附離二寸	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ
太サ徑四分ノ金線二條ヲ割合ス長サ凡ソ四寸五分ト定ム	四寸五分ト定ム	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ	同上
少シク前部ヲ加フ上ニ付テ金線ニ金製	五七ノ桐徑七分五厘ノ鉞釦ヲ以テス	後部ニ至リ兩端相對ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	胸前ヨリ下及腰圍ニ無紋金線幅三分ノ線ヲ付ス	白羅紗特別大禮ノトキ用フ	深黒紺羅紗	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	山形長サ一尺三寸五分頂線ニ軟島ノ黒毛ヲ付シ線路ニ沿フテ幅五分ノ金線一條ヲ圍フ	柄ハ黒鍍他ハ上ニ同シ	同上
後部ニ至リ兩端相對ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上



勅

大體加ノ勅ニ同シ

同上

圖様ハ明治二十一年十月八日宮内省達第十九號主殿局勅委任官服制ニ同シ

○陸軍部百八十三號

明治二十一年十二月陸軍部百八十三號陸軍軍醫學校職官定員表別表ノ通改

明治二十二年十二月二十二日

陸軍大臣伯爵大山 巖

(別表)

陸軍軍醫學校職官定員表

考備	軍醫	一等軍醫	正	二等軍醫	正	一等軍醫	副	二等軍醫	副	三等軍醫	副	以下
	長	一	監	事	三	教官	一	二	一	二	二	二
考備	教官ハ本表定員ノ外若干名衛生部士官以上ニシテ他ニ本職アル者ヨリ兼職セシムルコトアルヘシ											

○宮内省達號外

青山御所參入ノ警昇降下乘制限左ノ如ク改定シ今二十六日ヨリ之ヲ實施ス

但時ニ臨ミ特ニ示達スル場合ニ於テハ此限ニアラス

明治二十二年十二月二十六日

宮内大臣子爵土方久元

一 親任官勅任官辭香間祇候有爵者非役從四位以上外國公使其他内外國人ノ勳三等以上若クハ勅任ノ待遇ヲ受クルノ輩ハ新年及皇太后陛下御誕辰參賀ノ節ニ限リ乘車馬ノ儘御車寄ニ至リ昇降スルヲ得

一 委任官華族非役正五位以下從六位以上内外國人ノ勳四等以下勳六等以上若クハ委任ノ待遇ヲ受クルノ輩及門跡寺院ノ住職ハ同上ノ節ニ限リ表門内ニ於テ下乘ノ御車寄ヨリ昇降スルヲ得  
一 親任官以下委任ノ待遇ヲ受クルノ輩及門跡寺院ノ住職同上ノ節ヲ除クノ外ハ都テ乘車馬ノ儘車寄ニ至リ昇降スヘシ

○海軍省達第四百七十號

佐世保鎮守府所轄軍艦島海ヲ警備艦ト定メラル

明治二十二年十二月二十六日

海軍大臣伯爵西郷從道

○宮内省達第二十七號

本年十一月三日達第二十一號東宮職官制中東宮武官ノ項ヲ刪除ス

明治二十二年十二月二十七日

宮内大臣子爵土方久元

奉 勅

○陸軍部百八十四號

陸軍衛生部現役士官補充條例第十四條ニ依リ見習醫官或ハ見習藥劑官ヲ三等軍醫或ハ三等藥劑官ニ補任ノコトヲ醫務局長ニ上申シ若クハ同第十五條ノ前段ニ依リ否認ノ報告書ヲ醫務局長ヘ上申シタルトキハ軍醫長ハ同時ニ其趣ヲ陸軍軍醫學校長ニ移牒スヘシ

明治二十二年十二月二十七日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省達第四百七十一號

淺間定員表中大尉ノ欄ヲ左ノ通改正セラル

明治二十二年十二月二十七日

海軍大臣伯爵西郷從道



大 尉	航海長兼教官 砲術長兼教官 分隊長兼教官	五 一 一 七
-----	----------------------------	------------

○海軍省達第四百七十二號  
迅鯨定員表中大尉大機關士ノ欄ヲ左ノ通改正セラル  
明治二十二年十二月二十七日

海軍大臣伯爵西郷從道

大 尉	航海長兼教官 水雷長兼教官 分隊長兼教官	五 一 一 七
大機關士	水雷主操	四

○海軍省達第四百七十三號  
海軍技術等外吏以下懲罰則ヲ廢ス  
明治二十二年十二月二十七日

海軍大臣伯爵西郷從道

○陸軍部第八十五號

陸軍部内傳染病豫防規則ノ通定

明治二十二年十二月二十八日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第一條 本則ハ陸軍部内傳染病豫防規則ニ據リ之ヲ定ム  
第二條 傳染病豫防法ハ傳染病ノ初發ニ於テ嚴密ニ之ヲ施シ蔓延ニ至ラレメサルヲ要ス

陸軍部内傳染病豫防規則

(別冊)

第三條 規則陸軍部内傳染病豫防第三條ノ場合ニ於テ軍醫長ハ其地高層醫官ハ豫防實施ニ就テハ時々所在地醫官ヲ會シ意見ヲ悉サレメ成ルヘク均一ノ處置ヲナサシムヘシ但師團司令部所在地外ニ於テ規畫若クハ解決シタル事項ハ高級醫官ヨリ軍醫長ニ申報スヘシ

第四條 軍醫長ハ其部隊ニ傳染病發生シ又ハ其近傍地方ニ傳染病流行ノ兆アルトキハ他ノ部隊ニ之ヲ通報シ師團司令部所在地外ノ部隊ニ於テ傳染病ヲ發生シ又ハ傳染病豫防規則第三條ノ報告ヲ受ケタルトキハ該部隊ヨリ其近傍ノ部隊ニ之ヲ通報スヘシ

第五條 部隊附醫官ハ其部隊又ハ其近傍ニ於テ瘡癩病者アルトキハ定規ノ外ニ種痘ヲ施シ又虎刺刺腸管梅毒流行ノ兆アルトキハ特ニ給水及食物等ニ注意シ且部隊長ニ申告シテ周圍ノ區別ヲ嚴ニシ又外來人ノ周圍ハ別ニ之ヲ設クヘシ

第六條 部隊附醫官ハ部隊ニ於テ傳染病發生シタルトキハ先ツ之ヲ處置シ部隊長ニ申告シ病者ヲ病院ニ送り其病性ニ依リテハ同室者ヲ隔離シ其室内ニハ嚴密ノ消毒法ヲ行フヘシ

第七條 軍醫長ハ部隊ニ於テ虎刺刺若クハ瘡癩ヲ發生スルカ又ハ他ノ傳染病流行スルトキハ其病者並治癒死亡ノ員數ヲ地方廳ニ通知スヘシ又地方ニ於テ該病發生流行スルトキハ地方廳ニ照會シテ同一ノ通報ヲ受クヘシ但師團司令部所在地外ニ在テハ該地部隊ニ於テ其取扱ヲナスヘシ

第八條 規則第六條ノ病者表ハ軍醫長ニ於テ其病性及流行ノ景況ニ依リ日報又ハ週報ニ製セシムヘシ但虎刺刺病ニ限リ日報トス

第九條 軍醫長ハ規則第六條ノ病者表ヲ受ケタルトキハ之ヲ醫務局長ニ報告スヘシ

第十條 部隊附醫官ハ其部隊ニ於テ傳染病終熄シタルトキハ其初發ヨリ病者ノ員數並發病ノ原由、轉歸、傳播ノ景況及實行シタル豫防消毒法治療法ヲ詳記シテ當該軍醫長ニ報告シ軍醫長ハ其報告ニ依リ流行記事ヲ編纂シテ醫務局長ニ申報スヘシ



第十一條 規則第四條ノ豫防委員中一名乃至二名ハ衛生部上長官士官ヲ以テ之ニ充テ又軍吏部士官一名ヲ定員中ニ加フルコトアルヘシ

第十二條 避病院ノ場所ハ泉源河流水道ノ近傍及交通頻繁ナル地方ヲ避テ運搬ニ便ナル所ヲ擇ミ地方官若クハ市町村長ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第十三條 避病院ノ病室ハ重症輕症快復期ノ三室ニ區別シ又院内ニハ醫務室藥室看護人室消毒室屍室及庖厨ヲ設クヘシ但地方ノ避病院ヲ借用シタルトキ及傳染病者少數ノ場合ニ在テハ便宜之ヲ區別スヘシ

第十四條 避病院ニハ醫官ノ許可ヲ得サル者ハ一切立入ラシムヘカラス但病者ノ親戚ニシテ面會ヲ請フ者ニハ看護長ヲシテ其心得方ヲ示サレタル後時間ヲ限り之ヲ許スヘシ

第十五條 避病院附醫官及看護長等ハ屢々交代セシメサルヲ要ス

第十六條 傳染病者ヲ取扱フヘキ醫官看護長及看護手看護人ニハ時トシテ避病衣ヲ貸與スルコトアルヘシ

第十七條 規則第八條ニ於ケル病者感染ノ疑アルモノヲ隔離所ニ停留セシムル日數ハ其流行地又ハ有船泊有汽車若クハ有毒室ヲ離レタル日ヨリ起算シテ概ネ五日間トス

前項日數ノ日數ニ違スルモ醫官ニ於テ特ニ尙ホ停留ヲ要スト認ムルトキハ更ニ若干日間停留セシムルコトアルヘシ

第十八條 傳染病者ヲ消滅スルニハ左ノ各項ニ據ル

- 一 燒却法
- 二 熱氣消毒法
- 三 煮沸消毒法

四 藥物消毒法

五 通氣消毒法

六 乾燥消毒法

第十九條 燒却法トハ排泄物及汚穢物ヲ焚燒スルヲ謂フ

第二十條 熱氣消毒法トハ熱氣消毒装置ヲ用非汚染物ヲシテ一時乃至一時三十分間攝氏百度以上ノ熱氣ニ接シシメ以テ病者ヲ滅却スルヲ謂フ

第二十一條 煮沸消毒法トハ汚染物ヲ釜中ニ入レ蓋ヲ覆ヒ沸騰スルコト三十分乃至一時間ニシテ病者ヲ滅却スルヲ謂フ而シテ沸騰シタル物品ハ更ニ清水ニテ洗フモノトス又汚染物ヲ一旦消毒藥水ニ浸シタル後沸騰スルコトアルヘシ

第二十二條 藥物消毒法トハ左ノ藥物ヲ以テ病者ヲ滅却スルヲ謂フ

- 一 昇汞水 昇汞一分ヲ水千分ニ溶解シ更ニ鹽酸十分ヲ加ヘ之ニ
- 二 石炭酸水 石炭酸五分ヲ水百分ニ溶解ス
- 三 燧製石灰 燧製石灰一分ヲ水二十分ニ混和シテ石炭酸トナシ又ハ粉末トナシテ使用ス
- 四 粗製硫酸

第二十三條 通氣消毒法トハ換氣ヲ盛ニスルヲ謂フ其時間ハ成ルヘク久キヲ要ス

第二十四條 乾燥消毒法トハ日熱若クハ火熱ヲ以テ室内又ハ器什ヲ乾燥シ病者ヲ消除スルヲ謂フ

第二十五條 傳染病者ノ快復シタル者及隔離所ノ停留ヲ解キタル者ハ石鹼ヲ以テ全身ヲ洗ヒ常浴ヲ取ラシムヘシ但場合ニ依リ千倍ノ昇汞浴ニ入ラシメタル後更ニ常浴ヲ取ラシムルコトアルヘシ



- 第二十六條 傳染病者ニ接シ又ハ傳染病者ノ汚穢物若クハ其屍體ニ觸レタル者ハ其都度石鹼ヲ以テ其觸接シタル部分ヲ洗ヒ次ニ昇汞水又ハ石炭酸水ニテ再ヒ洗フヘシ
- 第二十七條 傳染病者ノ入りタル浴槽ノ水其他傳染病者ノ汚穢物ヲ洗ヒタル水ハ其千分ニ付昇汞一分ヲ加ヘ消毒シテ後傾瀉スヘシ
- 第二十八條 傳染病者ノ屍體ハ昇汞水ニ浸シタル布ヲ以テ被包シ納棺セサル間ハ屢々同水ヲ注クヘシ
- 第二十九條 傳染病者ノ排泄物並汚穢物ヲ運搬スルトキハ先ツ之ヲ空樽又ハ鐵葉罐等ニ入レ消毒藥ヲ澁キ蓋ヲ覆フヘシ又其物品ニ依リテハ昇汞水ニ浸シタル布ニ包ミ運搬スルコトアルヘシ
- 第三十條 家屋ヲ消毒スルニハ左ノ方法ニ據ル
  - 一 木造部分ノ消毒ハ石炭酸水ニテ洗ヒ其隙ニハ其漏ロタル儘ニテ通氣シ二十四時間ヲ經タル後五十倍ノ熱キ曹達酒液次ニ又石炭酸水ニテ洗ヒ再ヒ二十四時間通氣シテ乾燥セシムヘシ但熱ヲ加ヘテ乾燥セシムルモ妨ナシ
  - 二 土石造又ハ油漆ヲ塗リタル部分ノ消毒ハ石炭酸水ニテ洗ヒ二十四時間通氣乾燥セシムヘシ
  - 三 室内空氣ノ消毒ハ通氣消毒法乾燥消毒法ヲ行フヘシ
- 第三十一條 被服類及器具等ヲ消毒スルニハ左ノ方法ニ據ル
  - 一 被服類ノ消毒ハ蒸氣消毒法若クハ煮沸消毒法ヲ行ヒ又ハ二十四時間乃至四十八時間石炭酸水ニ浸シタル後清水ヲ以テ洗フヘシ
  - 二 藥盞其他木製器具ノ消毒ハ第三十條第一項ニ準據シ且日ニ曝シテ乾スヘシ

- 三 食器及盥漱器ノ消毒ハ煮沸消毒法ヲ行フヘシ
- 四 金屬製便器ノ消毒ハ石炭酸水ニテ洗フヘシ
- 五 金屬製器具ノ消毒ハ沸騰シ又ハ石炭酸水ニテ洗ヒ書籍及紙幣等ハ熱汽又ハ乾燥消毒法ヲ行フヘシ
- 六 革具類ノ消毒ハ石炭酸水ヲ用非綿襪襪等ハ之ヲ燒却スヘシ
- 七 擔架輸送車等ノ消毒ハ本條第二項ニ據ル
- 第三十二條 虎列刺病ノ消毒ハ左ノ各項ニ據ル
  - 一 排泄物ノ消毒ハ煨製石灰若クハ石灰乳ヲ加ヘテ其全量ノ著シク亞爾加里性反應ヲ呈スルニ至ルカ若クハ粗製硫酸ヲ排泄物全量ノ酸性ヲ呈スルマテ加ヘテ攪和シタル後埋却シ周圍ノ糞便ハ其百分ニ石灰乳十分ヲ加ヘテ攪和シ若クハ煨製石灰等五分ヲ加ヘテ攪和スルカ若クハ粗製硫酸ヲ加ヘテ攪和スルコト前法ノ如クニシテ消毒シ一週日ノ間ハ汲取ラシムヘカラス而シテ之ヲ汲取リタル後糞液及其周圍ニハ石灰乳ヲ撒布スルカ若クハ粗製硫酸ヲ澁クヘシ
  - 二 家屋ノ消毒ハ第三十條ニ據ル但時トシテ石灰乳ヲ用コルコトアルヘシ
  - 三 被服類及器具等ノ消毒ハ第三十一條ニ據ル
- 第三十三條 痘瘡及發疹瘰癧病ノ消毒ハ左ノ各項ニ據ル
  - 一 家屋及被服類ノ消毒ハ第三十條第三十一條ニ據ル
  - 二 器具等病汚染ノ疑アルモノノ消毒ハ第三十一條ニ據ル
- 第三十四條 腸胃扶助及赤痢病ノ消毒ハ左ノ各項ニ據ル
  - 一 排泄物ノ消毒ハ其全量ノ酸性ヲ呈スルマテ粗製硫酸ヲ加ヘ攪和シテ燒却若クハ埋却スヘシ



但腸胃扶斯病ニ在テハ尙第三十二條第一項ニ據リ煨製石灰若クハ石灰乳ヲ用ニルコトアルヘシ

二 被服類及器具等病汚染ノ疑アルモノ、消毒ハ第三十一條ニ據ル

三 家屋ノ消毒ハ通氣消毒法乾燥消毒法ニ據ルヘシト雖モ其排泄物ニ汚染シタル部分ノ消毒ハ第三十條第一項若クハ第二項ニ據ル但腸胃扶斯病ニ在テハ尙第三十二條第二項ノ但書ニ據ルコトアルヘシ

第三十五條 實扶的里病ノ消毒ハ左ノ各項ニ據ル

一 痰唾ハ石灰酸水ヲ盛リタル壺中ニ吐出セシメタル後之ヲ燒却若クハ埋却スヘシ

二 被服類及器具等病汚染ノ疑アルモノ、消毒ハ第三十一條ニ據ル

三 家屋ノ消毒ハ通氣消毒法乾燥消毒法ニ據ル

第三十六條 虎列刺、痘瘡、發疹室扶斯病者ノ屍體ハ火葬シテ其遺骨ヲ陸軍埋葬地ニ埋ムヘシ若シ火葬シ難キモノハ陣營經理部ニ照會シ埋葬地ノ一隅ヲ區畫シテ埋ムルコトヲ得但埋葬地狹隘ニシテ區畫スヘキ餘地ナキトキハ地方官若クハ市町村長ニ協議ヲ遂ケ地方ノ傳染病共葬墓地ニ埋ムヘシ

第三十七條 第三十六條ノ火葬ハ地方ノ火葬場ニ於テ共設ナキ地ニ在テハ部隊長ヨリ地方官若クハ市町村長ニ協議シテ便宜ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第三十八條 部隊ニ於テ虎列刺病者ノ排泄物或汚穢物及其屍體ノ運搬ニ要スル人夫ハ該部隊長ヨリ地方官若クハ市町村長ニ協議シテ便宜ニ依リテ之ヲ履役スヘシ

第三十九條 規則第六條ノ病者表ハ左ノ雛形ニ據ル

第四十條 屯田兵ニ在テモ本則ヲ適用ス

一		二		三		四		五		六	
何年何月何日	何病者表	何年何月何日	何病者表	何年何月何日	何病者表	何年何月何日	何病者表	何年何月何日	何病者表	何年何月何日	何病者表
初發	何月何日	病者	姓名	年	月	日	病	時	日	時	分
治癒	何月何日	病者	姓名	年	月	日	病	時	日	時	分
死亡	何月何日	病者	姓名	年	月	日	病	時	日	時	分
備考											



何年何月何日

職官氏名印

○陸軍省第八十六號

明治三十三年六月乙第三十九號陸軍部内虎列刺病豫防規則ヲ廢ス

明治三十三年十二月二十八日

陸軍大臣伯爵山田 巖

○陸軍省第八十七號

明治三十一年十二月陸軍省第二百四十九號師團戰時物件定數表中被服ノ部左ノ通改正ス

明治三十三年十二月二十八日

陸軍大臣伯爵山田 巖

第一種帽ハ第二種帽ニ改ム

第一表欄外第一項輪率ヲ除クノ割註及第六項第二種帽ノ四字ヲ削リ又追送ノ三字ヲ其ニ改ム

第二及第三表屬具ノ區畫中磨刷ノ下ニ「磨板」ノ二字ヲ加フ

第四表小倉ノ二字ヲ「絨」ニ改メ同表欄外豫テ追送ノ五字ヲ其ニ改メ尙左ノ一項ヲ追加ス

一 絨衣袴ニ定ムト雖モ米々貯藏ナキ向ニ在テハ小倉衣袴ヲ代用シテ準備スルモ妨ケナシ

諸表欄外ニ時宜ニ依リ「又時宜ニ依リ」以下ノ文字ハ削除ス

第二種帽一箇ノ量目ヲ五十匁トス從テ諸表中同上量目ノ區畫ヲ改正シ且ツ細卷ノ量目ヲ左ノ通り

改ム

第六、第八、第九、第十、第十三、第十五表八百匁ヲ「一貫百九十匁」第七表六百十匁ヲ「一貫九百十

匁」第十一表一貫二百十匁ヲ「一貫四百七十匁」第十二表三百五匁ヲ「九百五十五匁」第十四表

十六表第一種帽ノ下四百匁ヲ「一貫百八十匁」第十九表九百二十匁ヲ「一貫百八十匁」第十八表一

貫二百十匁ヲ「一貫四百七十匁」ニ改ム

第六表一畝ノ量目二十一貫六百二十四匁ヲ「二十一貫六百三十四匁」第十二表同二十六貫三百六

十一匁ヲ「二十五貫九百一十一匁」ニ改ム

○海軍省第四百七十四號

常備艦隊軍艦武藏除隊セラレ高等水兵練習艦ト定ムラル

明治三十三年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百七十五號

橫須賀鎮守府所管警備艦高雄警備艦ヲ解カレ常備艦隊ニ編入セラル

明治三十三年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百七十六號

橫須賀鎮守府所管練習艦天城ノ役務ヲ解カル

明治三十三年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百七十七號

橫須賀鎮守府所屬砲術練習艦海門ヲ更ニ練習艦ト定ムラル該役務中橫須賀鎮守府ニ屬セラル

明治三十三年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百七十八號

海軍生徒懲戒則明治三十三年一月八日限り廢ス

明治三十三年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省第四百七十九號

高等水兵練習艦及水兵火夫ノ練習艦ニハ教員ノ職名ヲ設ケス兼組ノ下士中練習生又ハ新兵ノ十分

明治三十三年十二月

海軍省第四百七十四號 第四百七十五號 第四百七十六號 第四百七十七號 第四百七十八號 第四百七十九號



一ノ人員ヲ以テ教員トシムヘシ但水兵ノ教員ニハ掌帆長風甲板長甲板次長、接針手、檣樓長、帆  
鐘手ノ職ニ在ル者ヲ以テ充ツヘシ

明治二十二年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西鄉從道

○海軍省第四百八十號

高等水兵練習艦規則左ノ通定ス

海軍大臣伯爵西鄉從道

明治二十二年十二月二十八日

高等水兵練習艦規則

第一條 高等水兵練習艦練習生ニ選拔スヘキ者ハ三等水兵以上ノ水兵ニシテ左ノ諸項ニ適合ノ者  
タルヘシ

一、志操確實品行善良兵曹タルニ堪フヘキ者

二、一箇年以上航海艦ニ乗組タル者

三、處刑及賭博犯ノ處分ヲ受ケサル者

四、試験ニ合格ノ者

第二條 練習生ニ採用スヘキ人員ハ須要ニ應ジ毎年鎮守府コトニ定ム

第三條 練習生採用ノ達アリタルトキハ艦隊校及各屬長ハ第一條第四項ノ外各項ニ適合スル者  
ヲ選拔シ共職姓名ヲ高等水兵練習艦長ニ通知スヘシ

第四條 高等水兵練習艦長前條ノ通知ヲ得タルトキハ試験問題ヲ作り艦隊校及各屬長ニ送附ス  
各長ハ試験ヲ行ヒ其答書ヲ高等水兵練習艦長ニ送附スヘシ

試験ハ總テ筆記ヲ以テ應答セシム

第五條 試験ハ作文算術ノ二科トス

作文ハ通俗文算術ハ四則ヲ程度トス

第六條 高等水兵練習艦長ハ各鎮守府コトニ合格者ヲ區別シ成績ノ順序ヲ以テ職姓名ヲ列記シ乘  
艦期日ヲ定メ軍港司令官ヲ經由シ司令長官ニ進達スヘシ

第七條 横須賀鎮守府司令長官前條ノ進達書ヲ受ケタルトキハ他鎮守府海兵團ニ屬スルモノヲ各  
共司令長官ニ送附スヘシ

鎮守府司令長官ハ合格者ニ就キ取捨ヲ加ヘ艦隊校及各屬長ヲシテ練習生ヲ命シ期日以内ニ乘  
艦セシムヘシ

第八條 合格者ノ數所定ノ人員ニ超過スルトキハ試験成績ノ順序ニ依リ成績同シキ者ハ等級ノ順  
序ニ依リ練習生ヲ命スルモノトス

第九條 練習艦規則ハ別ニ定ム

第十條 練習生卒業試験ニ及第シタルトキハ兵曹適任證書ヲ授與ス

第十一條 大試験若シハ其再試験ニ落第タル練習生及學科履行中怠慢又ハ不行狀ニシテ卒業ノ  
目途ナキ者横須賀鎮守府海兵團在籍ナルトキハ艦長軍港司令官ヲ經由シ司令長官ノ認可ヲ得テ

練習生ヲ免シ他團在籍ノ者ナルトキハ本籍海兵團ニ送附シ之ヲ該團長ニ通知スヘシ該團長ハ各  
其所屬軍港司令官ヲ經由シ司令長官ノ認可ヲ得テ練習生ヲ免スヘシ

第十二條 卒業シタル練習生中砲兵タルニ適當ノ者ハ砲術練習生ヲ命シ砲術練習艦ニ轉乘セシ  
ム水雷兵タルニ適當ノ者ハ水雷術練習生ヲ命シ水雷術練習艦ニ轉乘セシムヘシ

第十三條 卒業シタル練習生ヲ砲術練習艦又ハ水雷術練習艦ニ轉乘セシメタルトキハ高等水兵練  
習艦長之ヲ各鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ



第十四條 艦長ハ練習生ノ教育ニ關シテ會議ヲ要スルトキハ副長及教官ヲ會同シ會議ヲ開キ艦長トナリ審議決定スヘシ

第十五條 艦長ハ常ニ教務上ノ得失ヲ考察シ意見アルトキハ之ヲ軍港司令官ニ具申スヘシ

第十六條 艦長ハ大試験成績表及品行表ニ意見ヲ附シ軍港司令官ニ出スヘシ

第十七條 副長ハ教務ニ係ル書類ヲ審査シ之ヲ艦長ニ出スヘシ

第十八條 先任教官ハ教授ニ係ル書類ヲ整頓スヘシ

第十九條 教官ハ試験問題成績表及品行表ヲ擬シ副長ヲ經テ艦長ニ出スヘシ

第二十條 教官ハ教務上ニ付意見アルトキハ副長ヲ經テ艦長ニ具申スヘシ

第二十一條 教官ハ練習生ノ勸懲及行狀ヲ監視シ志操ヲ養成スルヲ任トス

第二十二條 教官ハ副長及教官ノ命ヲ受ケ教授及試験ニ從事シ分隊長ニ關シ隊務ヲ掌ル

第二十三條 高等水兵練習艦定員中本則ニ於テ掲記セサル者ノ職務ハ軍艦職員條例ニ依ル

○海軍省達第四百八十一號

掌砲證狀、掌水雷證狀、機關師適任證書、兵曹適任證書、機關手適任證書、練習工卒業證書、會計練習生卒業證書、信號卒業證書ヲ有スル准士官下士ニアラサレハ教員タラシムルコトヲ得ス但看護手ハ此限ニ在ラス又證狀、證書ヲ有スル下士不足ノトキハ證狀、證書ヲ有スル一等卒ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

明治二十二年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第四百八十二號

舊運用術練習艦ニ於テ授與シタル運用術教員適任證書、運用術卒業證書ハ凡テ兵曹適任證書ト同

一ノ効力ヲ有セシム

明治二十二年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第四百八十三號

准士官下士職名ノ助教、助教授、助教補ヲ總テ教員ト改ム

明治二十二年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第四百八十四號

輕砲六門以上ヲ副砲トシテ備フル軍艦及禮砲用ノ輕砲ヲ備フル軍艦ノ外禮砲ヲ行フニ及ハス但口径二十一瓏以上ノ砲ヲ重砲トシ其他ヲ輕砲トス

明治二十二年十二月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道



法令全書

告示

○農商務省告示第一號

特許條例意匠條例及商標條例ニ依リ特許發明ノ明細書特許公報商標公報ノ拂下代價並ニ書類膠木  
圖面複製ノ手数料及請求手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十二年一月四日

農商務大臣伯爵井上 馨

- 第一條 印刷書類拂下代價ハ明細書一部ニ付金貳錢五厘特許公報一部ニ付金拾五錢商標公報一部  
ニ付金貳錢五厘トス
- 第二條 書類ノ膠木手数料ハ十三行二十五字詰一枚ニ付金拾錢トス但字數一枚ニ滿サルモノハ一  
枚ヲ以テ算ス
- 第三條 圖面複製手数料ハ一枚ニ付金貳拾五錢以上金壹圓以下ニ於テ複製ノ難易ニ從ヒ特許局長  
ノ定ムル所ニ依ル
- 第四條 印刷書類ノ拂下又ハ書類ノ膠木ヲ請求スル者ハ請求書ヲ差出スヘシ但印刷書類ノ郵送ヲ  
請フ者ハ一部ニ付金貳錢ノ郵便切手ヲ請求書ニ添フヘシ
- 第五條 特許條例第三十三條ニ依リ圖面ノ複製ヲ請求スル者ハ其發明ノ雛形見本又ハ粗圖ニ明細  
書ヲ添ヘテ請求書ト共ニ差出スヘシ但審査用ノ爲メ既ニ其發明ノ雛形見本又ハ粗圖並ニ明細書  
ヲ差出シタル者ハ請求書ノミヲ差出スヘシ
- 第六條 意匠條例第二十五條ニ依リ圖面ノ複製ヲ請求スル者ハ其意匠登錄證ノ番號及日附ヲ請求  
書ニ記載シテ差出スヘシ



第七條 代價及手数料ヲ徴收スルトキハ當省會計局ヨリ請求者ニ納額告知書ヲ發送スヘシ

○農商務省告示第二號

鐵山試掘許可ノ際證券下渡シ來リ候處自今之ヲ下付セス

明治二十二年一月九日

農商務大臣伯爵井上 馨

○逓信省告示第一號

左ノ逓郵便局名ヲ改稱ス

明治二十二年一月九日

逓信大臣子爵榎本武揚

舊郡名

舊稱

改稱

豐前國田川郡

添田郵便局

添伊田郵便局

豐前國田川郡

猪俣郵便局

猪國郵便局

豐前國金救郡

下曾根郵便局

曾根郵便局

豐前國京都郡

新町郵便局

松田郵便局

○大藏省告示第一號

福井縣下福井國庫金出納所吉江出納支所ノ儲本年一月十日ヨリ丹生郡西田中村へ移シ西田中出納支所ト改稱ス

明治二十二年一月十日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第二號

武藏國本所區中之郷元町郵便貯金預所ヲ同區中之郷竹町ニ移シ中之郷郵便貯金預所ト改稱シ本月

十六日ヨリ其事務ヲ繼續取扱ハレム

明治二十二年一月十日

逓信大臣子爵榎本武揚

○大藏省告示第二號

金祿公債證書 百圓 丙號 四貳九壹番 壹枚

右ハ福岡縣下筑前國粕屋郡土井村生田村所有ニシテ明治十一年中同縣下丸三銀行員小林剛三ハ預ケ中剛三儲居處不分明隨テ證書ノ所在ヲ失ス

前番ノ通二十一年十二月二十六日届出ニ付自今其取引ヲ停止ス若其所在ヲ聞見スルモノハ直ニ日本銀行本支店又ハ代理店へ届出ヘシ

明治二十二年一月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三號

金祿公債證書 百圓 丙號 六八六參番 壹枚

右ハ愛知縣土族鈴木知新所有ノ處明治十五年中同縣下名古屋區八百屋町高木定吉へ預ケ中定吉ヨリ轉讓ノ末所在不分明

前番ノ通二十一年十二月二十四日届出ニ付自今其取引ヲ停止ス若其所在ヲ聞見スルモノハ直ニ日本銀行本支店又ハ代理店へ届出ヘシ

明治二十二年一月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第四號

起業公債證書無記名 百圓 第五號 六八九壹番 壹枚

同 五拾圓 第參號 五貳八九番 壹枚



右ハ山梨縣下中斐國東八代郡富士見村寄留滋賀縣平民伊藤榮次郎所有ノ處客年十二月二十六日同縣下甲府柳町四町目通上連雀町早川善七宅ニ於テ紛失前書ノ通二十一年十二月二十七日届出ニ付自今共取引ヲ停止ス若其所在ヲ聞見スルモノハ直ニ第一圖立銀行三井銀行木支店又ハ代理店へ届出ヘン

明治二十二年一月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第五號

金祿公債證書 拾圓 丙々號 貳貳七番 壹枚

右ハ滋賀縣土族北尾鎮平記名ノ分所在不明ノ旨届出ニ付明治十六年三月大藏省告示第二十五號ヲ以テ其取引ヲ停止シタル處二十一年十二月二十六日發見ノ旨届出ニ付自今共停止ヲ解ク

明治二十二年一月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第六號

金祿公債證書 參百圓 丙參號 五貳四參番 壹枚

福岡縣土族 井上義亮記名

同 百圓 丙參號 壹八貳四番 壹枚 同

同 參百圓 丙參號 五貳參參番 壹枚 同 井上 充所有

同 百圓 丙參號 壹八壹四番 壹枚 同

右ハ所在不明ノ旨届出ニ付二十一年三月大藏省告示第三十一號及二十一年五月大藏省告示第六十二號ヲ以テ其取引ヲ停止シタル處二十一年十二月二十五日滋賀縣下ニ於テ發見ノ旨届出ニ付自今共停止ヲ解ク

明治二十二年一月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第七號

一金貳百萬圓

七分利付金祿公債元金

右金額本月中償還ス

但抽籤ノ都合ニ因リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘン

明治二十二年一月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第三號

明治十九年遞信省告示第百十五號水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中葡萄牙諸殖民地ヲ追加ス

明治二十二年一月十四日

遞信大臣子爵榎本武揚

○海軍省告示第一號

自今海軍省門内下馬下乘ノ制限ヲ廢ス

明治二十二年一月十五日

海軍大臣伯爵西鄉從道

○遞信省告示第四號

左ノ通郵便局電信局名ヲ改稱ス

明治二十二年一月十五日

遞信大臣子爵榎本武揚

國郡名 舊稱 改稱

周防國佐波郡 伏野郵便局 堀郵便局

豐後國日田郡 豆田郵便局 日田郵便局

豐後國日田郡 豆田電信局 日田電信局

○遞信省告示第五號



一 逓信監察官印章 第七號 壹葉

右日向國飯野郵便局へ照合用トシテ下付シタル分紛失ノ旨届出タリ以後該印章ハ無効トス  
但該印章發見シタルモノハ所轄逓信管理局ニ届出ツヘ

明治二十二年一月十六日

逓信大臣子爵榎本武揚

○大藏省告示第八號

德島縣下德島國庫金出納所ヲ本月二十一日ヨリ名東郡德島西新町へ移ス

明治二十二年一月十九日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第六號

武藏國上野郡同國鴻巣及下野國那須鐵道停車場電信取扱所ニ於テ本年二月一日ヨリ公衆ノ通信ヲ開始ス

但萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報ハ各所トモ之ヲ取扱ハス且上野電信取扱所ニ於テハ鐵道乘客ヨリ發送スル電報ニ限り之ヲ取扱フ

明治二十二年一月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第七號

相模國藤澤同國國府津武藏國上野郡同國鴻巣及下野國那須鐵道停車場電信取扱所公衆通信取扱時間  
左ノ如ク  
每年四月一日ヨリ九月三十日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ  
每年十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

明治二十二年一月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○大藏省告示第九號

名古屋第三百二十四國立銀行岡崎支店明治二十二年一月三十一日限閉鎖ス

明治二十二年一月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第八號

常陸國新治郡土浦町ニ二等電信局ヲ置キ土浦電信局ト稱シ來二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハレム

明治二十二年一月二十二日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第九號

下總國西葛飾郡古河町ニ二等電信局ヲ置キ古河電信局ト稱シ來二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハレム

明治二十二年一月二十二日

逓信大臣子爵榎本武揚

○司法省告示第一號

宮崎始審裁判所ニ於テ明治十七年乃至十九年中刑事ニ關シテ領置シタル證據物件ニシテ所有主不分明ナルモノ數種有之候條右下渡ヲ請フモノハ事由ヲ詳記シ來ル四月二十日迄ニ同裁判所へ申出ヘ

明治二十二年一月二十五日

司法大臣伯爵山田顯義

○大藏省告示第十號

千葉縣下千葉國庫金出納所關宿出納支所ノ儲本月三十一日限り廢止ス

明治二十二年一月二十六日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十一號

一本月二十五日日本銀行ニ於テ抽籤ヲ以償還シタル七分利付金庫公債當籤元金ノ代リトシテ交付



スル整理公債證書ノ利子ハ二十二年二月ヨリ之ヲ付ス

但二十二年三月十五日ヲ過キ請求ヲナスモノハ其請求ノ翌月ヨリ利子ヲ付スルモノトス  
一當籤ノ證書ニシテ其額整理公債證書ノ額面ニ滿タサルトキハ之ニ他ノ六分以上利付公債證書ヲ加ヘテ整理公債證書ノ請求ヲナスコトヲ得

明治二十二年一月二十九日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十二號

一租稅監査印章 照合用三字朱印 第一五二九七號 一枚  
右ハ長崎縣下ニ於テ紛失ノ旨昨二十二年告示第六十號ヲ以テ及告示置候處今般同縣下ニ於テ發見ノ旨届出タリ

明治二十二年一月三十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十三號

三重縣下津國庫金出納所署名出納支所ヲ本年二月一日ヨリ桑名郡桑名本町へ移ス  
明治二十二年一月三十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十四號

一本年一助令第六號鐵道費補充公債條例ニ據リ鐵道費補充公債額面貳百萬圓ヲ募集スルモノトシ其價格ハ證書額面百圓ニ付金百圓トス  
一應募者ハ來ル二月十五日ヨリ同二十日迄ニ應募金額價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行本支店又ハ代理店へ申込ムヘシ

一應募者ハ申込ノトキ應募額百圓ニ付金拾圓ノ割合ヲ以テ保證金ヲ拂込ムヘシ  
一大藏大臣ハ來三月五日マテニ各應募者ニ交付スヘキ證書ノ高ヲ定メ日本銀行ヨリ通知セシムル

ニ付共高ニ對スル金額ノ内保證金ヲ引去リ餘金ノ拂込ヲ二期ニ分チ來三月十五日ヨリ同三十一日マテ第一期トシ同四月十日ヨリ同十五日マテ第二期トシ第一期ニ證書額面百圓ニ付金五拾圓第二期ニ殘額ヲ拂込ムヘシ  
一前各項ノ外ハ整理公債募集ノ手續ニ據ルモノトス

明治二十二年一月三十一日

大藏大臣伯爵松方正義

遞信省告示第十號

客年十二月中西洋形船へ左ノ通信號符字ヲ附ス

明治二十二年一月三十一日

遞信大臣子爵榎本武揚

西洋形船

符號	免狀	番號	船名	種類	定製場	船主氏名
HGRD	1106	1106	仁壽丸 Jinsu Maru	汽	大阪	井上仁兵衛
HGRF	1107	1107	禮勢丸 Reisei Maru	帆	渡島國府館	成田 嘉七
HGRJ	1108	1108	露内丸 Rounai Maru	帆	同	山下 健平
HGRK	1109	1109	黃金丸 Ogon Maru	汽	尾張國熱田	愛阪汽船會社
HGRL	1110	1110	滿淺丸 Misasa Maru	汽	紀伊國湯淺	南海汽船會社
HGRM	1111	1111	虎丸 Tora Maru No. 2	帆	上佐國農入町堀川	小松龍太郎
HGRN	1112	1112	龍丸 Tatsun Maru	帆	同	同

○遞信省告示第十一號



陸前國氣仙郡世田米郵便局ニ郵便貯金事務ヲ開設シ來ル二月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年一月三十一日

遷信大臣子爵榎木武揚

○遷信省告示第十二號

陸前國玉造郡鬼首郵便局郵便貯金事務來ル二月十五日限リ廢止ス

明治二十二年一月三十一日

遷信大臣子爵榎木武揚

○宮内省告示第一號

澳地利洪牙利國皇太子ルードルフ殿下薨去ニ付今三十一日ヨリ十二日間宮中喪 仰出サル

明治二十二年一月三十一日

宮内大臣子爵土方久元

○宮内省告示第二號

澳地利洪牙利國皇太子ルードルフ殿下薨去ニ付宮中喪十二日間高等官有爵者從六位勳六等以上ノ  
親參 内ノ節左ノ通り喪服用可致旨 仰出サル

明治二十二年一月三十一日

宮内大臣子爵土方久元

前六日

男子

○大禮服

一 黒紗ヲ左腕ニ纏フ

一 黒紗ヲ以テ帽ノ飾章ヲ覆フ

一 黒紗ヲ以テ劔ノ柄ヲ卷ク

一 手套黒色

○通常禮服(燕尾服)

一 手套黒色

○通常服(フロックコート)上下黒羅紗

一 帽黒色 黒羅紗ヲ纏フ

一 襟飾手套黒色



婦人

- 一 服地無紋黒色
- 一 帽子及飾黒色
- 一 手套扇子黒色
- 一 諸飾品黒色

後六日

男子

○大禮服

- 一 黒紗ヲ左腕ニ纏フ
- 一 手袋鼠色又ハ白

○通禮常服(燕尾服)

- 一 手袋鼠色又ハ白

○通常服(フロックコート)上下黒羅紗

- 一 黒羅紗ヲ以テ帽ニ纏フ
- 一 襟飾黒色 手袋黒又ハ鼠色

婦人

- 一 服地黒色
- 一 手袋黒又ハ鼠色

陸海軍將校及相當官ハ十二日間左腕ニ黒紗ヲ纏フ

○内務省告示第一號

明治二十一年法律第一號市制第百二十六條ニ據リ市制施行地左ノ通指定ス

明治二十二年二月二日

市制施行地

内務大臣伯爵松方正義

東京府管下 東京	京都府管下 京都	大阪府管下 大阪
神奈川縣管下 横浜	兵庫縣管下 神戸	長崎縣管下 長崎
新潟縣管下 新潟	茨城縣管下 水戸	三重縣管下 津
愛知縣管下 名古屋	静岡縣管下 静岡	宮城縣管下 仙台
岐阜縣管下 岐阜	青森縣管下 弘前	山形縣管下 山形
秋田縣管下 秋田	福井縣管下 福井	石川縣管下 金澤
富山縣管下 富山	島根縣管下 松江	岡山縣管下 岡山
廣島縣管下 廣島	山口縣管下 山口	和歌山縣管下 和歌山
徳島縣管下 徳島	香川縣管下 高松	愛媛縣管下 松山
高知縣管下 高知	福岡縣管下 福岡	熊本縣管下 熊本
鹿児島縣管下 鹿児島	久留米	

○内務省告示第二號

明治二十二年二月二日

○官内省告示第三號

明治二十二年二月二日

内務大臣伯爵松方正義

大阪府下東區内本町二丁目百三十九番地藤谷虎三發行ノ書肆史竝ニ同人發行ノ故突天日雜言ト題スル出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年二月 告示 官内省第一號 第二號 官内省第三號



來ル十一日紀元節ニ付當日除喪 仰出サル

明治二十二年二月三日

宮内大臣子爵土方久元

○宮内省告示第四號

來ル十一日紀元節宮中ニ於テ憲法發布式ヲ行ハセラル、ニ付諸次第左ノ如ク定メラル  
明治二十二年二月三日 宮内大臣子爵土方久元

○紀元節御親祭次第

午前第八時宮内省官員著床

次開扉

此間奏樂

次神饌及御幣物ヲ供ス

此間奏樂

午前第九時親任官公爵勳一等勅任官府縣知事縣香問祇候侯爵著床

次出御内大臣宮内大臣侍從長式部長官以下供奉恒ノ如シ

親王内閣總理大臣樞密院議長各大臣扈從

次賢所 御玉串ヲ奉リ給ヒ御拜憲法發布ノ御告文ヲ奏シ給フ

御鈴恒ノ如シ

次皇靈殿 御玉串ヲ奉リ給ヒ御拜御告文ヲ奏シ給フ

次神殿 御拜畢テ 入御

御拜ノ間親王以下著床ノ諸員起ツ

次親王内閣總理大臣樞密院議長各大臣親任官公爵勳一等勅任官府縣知事縣香問祇候侯爵拜

禮 次宮内省著床諸員拜禮

次御幣物及神饌ヲ撤ス

此間奏樂

次閉扉

此間奏樂

次各退出

○憲法發布式次第

期ニ先ツテ

神宮ハハ堂典長公爵九條道孝ヲ

神武天皇御陵ハハ式部次官男爵高崎正風ヲ

孝明天皇御陵ハハ堂典子爵竹屋光昭ヲ 勅使トシテ發遣シ奉幣セラル

官國幣社ハハ地方官ヲ 勅使トシテ奉幣セラル

當日午前第十時内閣總理大臣百官有司ヲ率テ正殿ノ式場ニ入り班列ス

入場諸員左ノ如シ

内閣總理大臣

樞密院議長

各大臣

親任官

公爵

勳一等

勅任官

府縣知事

縣香問祇候



侯爵

伯子男爵總代各一名

次出御

此間奏樂君カ代

御列

舍人

式部官

式部長官

侍從長

宸儀

侍從

親王

内大臣

憲法ヲ納メタル筈ヲ奉ス

天皇御靈

侍從之ヲ奉ス

宮内大臣

近衛將官佐官

關係宮内官

次高御座ニ 著御恩從ノ親王諸官左右ニ侍立ス

次内大臣憲法ヲ奉ル

次勅語アリ憲法ヲ内閣總理大臣ニ下付シ給フ内閣總理大臣進テ之ヲ奉受ス

此間祝施執行

次入御

此間奏樂君カ代

次各退出

御式中

皇后陛下ハ 高御座ノ右側ニ別ニ 御座ヲ設ケテ參觀シ給フ

各國公使公使館員ハ左側ニ參列シテ陪觀ス

勅任取扱雇外國人

勳三等以上内外國人

在京奏任官三等以上

始審裁判所長

奏任官<sup>内閣樞密院</sup>四等以下每等總代各一名

府縣會議長

右正殿廊下ニ於テ拜觀ヲ許サル

○青山練兵場觀兵式 臨御次第<sup>當日雨等ナ</sup>レハ此ム

午後第一時三十分 御出門

鹵簿

國儀式

皇帝

皇后兩陛下御同車

親王御息所内閣總理大臣樞密院議長各大臣親任官供奉







○海軍省告示第二號

海軍志願兵徵募規則ニ依リ受檢合格採用證書ヲ附與シタル者ノ結婚ハ入營前ト雖モ海軍武官結婚條例ニ依ル可シ

明治二十二年二月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○大藏省告示第十五號

福井縣下福井國庫金出納所大野出納支所ヲ本月五日ヨリ大野郡大野龜山町へ移ス

明治二十二年二月五日

大藏大臣伯爵松方正義

○賞勳局告示第一號

勳章記章佩用心得

第一款 一等勳章ヲ有スル者更ニ別種ノ一等勳章ヲ受ケタル時ハ旭日桐花章ト旭日章トハ同後ニ受ケタル一等勳章ノ正章並ニ其副章ト前ニ受ケタル一等勳章ノ副章トヲ併佩スヘシ

第二款 二等以下ノ勳章ヲ有スル者更ニ同種上級ノ勳章ヲ受ケタル時ハ其下級ノ勳章ヲ佩フルコトヲ止ム別種ノ同級若クハ上級ノ勳章ヲ受ケタル時ハ之ヲ併佩スヘシ

第三款 二等勳章若クハ一等ノ副章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ニ付テ其上位ニ列佩スヘシ

第四款 三等勳章兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ノ上ニ佩スヘシ

第五款 四等勳章以下兩箇以上ヲ併佩スル時ハ後ニ受ケタルモノヲ前ニ受ケタルモノノ位置ノ右ニ佩シ其從軍記章若クハ褒章ヲ有スル者ハ之ヲ勳章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ



第六款 勳章ハ男子ハ大禮服及ヒ通常禮服(燕尾服)著用ノ時佩フヘシ從軍記章及ヒ褒章ヲ有スル者亦同シ

通常禮服著用ノ時ハ大綬章ヲ上衣ノ下ニ佩ヒ其副章ヲ上衣ノ上ニ佩フ又大綬章ヲ胴衣ノ下綱衣ノ上ニ佩ヒ副章ヲ上衣ノ上ニ佩フ其位置ニ佩フルコトアリ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ其副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ

旭日ニ等章ヲ有スル者通常禮服著用ノ節ハ其副章ヲ省クコトアルヘシ

第七款 勳章ハ婦人ハ大中小禮服著用ノ時佩フヘシ

一等勳章ヲ有スル者大禮服ニハ大綬章及ヒ副章ヲ佩フ中小禮服ニハ時宜ニ依リ大綬章ヲ省キ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ又通常禮服ニハ時宜ニ依リ副章ノミヲ佩フルコトアルヘシ二等以下ノ勳章ヲ有スル者ハ通常禮服著用ノ時ニ於テモ時宜ニ依リ之ヲ佩フルコトアルヘシ

外國勳章記章

第八款 外國勳章佩用方ハ各彼ノ規則ニ依ル

第九款 我勳章ヲ有スル者我勳章ヲ佩ヒシテ彼ノ勳章ノミヲ佩フヘカラス

第十款 彼我ノ大綬章ヲ有スル者ハ彼ノ大綬章ヲ佩ヒス之ニ屬スル副章ノミヲ我副章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

但外交ノ時宜ニ依リ彼ノ大綬章及ヒ其副章ヲ佩フル時ハ我大綬章ヲ省キ我副章ハ併佩スヘシ

第十一款 彼我ノ綬ヲ用ヒザル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ヲ我勳章ノ位置ノ下若クハ次ニ列佩スヘシ

第十二款 彼我ノ喉下ニ佩フル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ヲ我勳章ノ位置ノ下ニ佩フヘシ

第十三款 彼我ノ左肋ニ佩フル勳章ヲ併佩スル時ハ彼ノ勳章ヲ我勳章ノ位置ノ左ニ列佩スヘシ

明治二十二年二月七日

賞勳局總裁 伯耆柳原前光

○宮内省告示第五號

來ル十一月廿山練兵場觀兵式 臨幸御出陣時刻午後第一時ト改定セラル

明治二十二年二月八日

宮内大臣子爵土方久元

○遞信省告示第十三號

本月十六日ヨリ下野國安蘇郡佐野電信局ヲ三等トシ佐野郵便局ニ合併佐野郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但シ曾分ノ内歐文電報歐字及並刺比亞歐字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年二月八日

遞信大臣子爵榎本武揚

○宮内省告示第六號

來ル十一月廿日紀元節ハ午後 行幸在ラセラル、ニ付正午十二時以後參拜ノ輩ニ限リ正門ノ通行ヲ止

明治二十二年二月九日

宮内大臣子爵土方久元



○遞信省告示第十四號

明治十九年遞信省告示第百十五號水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中へ西班牙諸殖民地、丁抹領西印度ノ二國ヲ追加シ及ヒ右各國ノ内日耳曼ハ云々ノ次へ左ノ一項ヲ追加ス  
明治二十二年二月九日  
丁抹領西印度へ差出ス脂肪品ニ限り溶解ノ難易ニ係ハラス渾テ第一項ノ規定ニ據リ之ヲ包裝ス

遞信大臣子爵榎本武揚

○遞信省告示第十五號

本月十六日ヨリ磐城國刈田郡白石電信局ヲ三等トシ白石郵便局ニ合併白石郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム  
但シ當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス  
明治二十二年二月九日  
遞信大臣子爵榎本武揚

○遞信省告示第十六號

本月十六日ヨリ越前國大野郡勝山郵便局ヲ勝山郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム  
但シ當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス  
明治二十二年二月九日  
遞信大臣子爵榎本武揚

○陸軍省告示第一號

勅令第十二號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罪ニ付キ刑ノ宣告ヲ受ケ既ニ其執行ヲ終リタル者ニシテ赦免ヲ得タルノ證明ヲ得ント欲スルトキハ刑ノ宣告ヲ爲シタル軍法會議ノ理事ニ申出テ陸軍裁判所若クハ軍團裁判所ニ於テ其宣告ヲ受ケタル者ハ第一師團軍法會議ノ理事ニ申出ツ可シ  
明治二十二年二月十一日  
陸軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省告示第三號

勅令第十二號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罪ニ付キ海軍法術ニ於テ刑ノ宣告ヲ受ケ其執行ヲ終リタル者ニシテ赦免ヲ得タル旨ノ證明ヲ得ント欲スルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢察官ニ申出ツヘシ  
但明治十四年以前司法省佐賀、萩、九州其他ノ臨時裁判所ニ於テ處斷ヲ受ケタル者ハ大審院檢事長ニ申出ツヘシ  
明治二十二年二月十一日  
海軍大臣伯爵西郷從道

○司法省告示第二號

本年勅令第十二號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罪ニ付刑ノ言渡ヲ受ケ既ニ其執行ヲ終リタル者ニシテ赦免ヲ得タル旨ノ證明ヲ得ント欲スルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢察官ニ申出ツヘシ  
但明治十四年以前司法省佐賀、萩、九州其他ノ臨時裁判所ニ於テ處斷ヲ受ケタル者ハ大審院檢事長ニ申出ツヘシ  
明治二十二年二月十一日  
司法大臣伯爵山田顯義

○內務省告示第三號

明治二十年第四號告示地方測候所ノ位置左ノ通變更ス  
明治二十二年二月十二日  
內務大臣伯爵松方正義

廢止  
新置  
北海道屬ノ内 樺紋  
宗谷  
北海道屬ノ内 上川 釧路  
網走 稚内



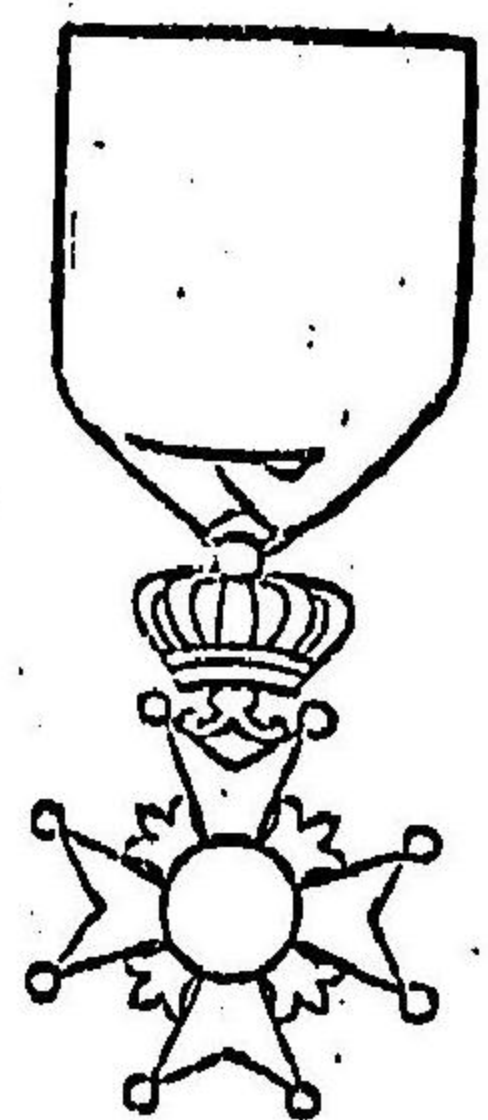
○賞勳局告示第二號

略章略綬佩用心得

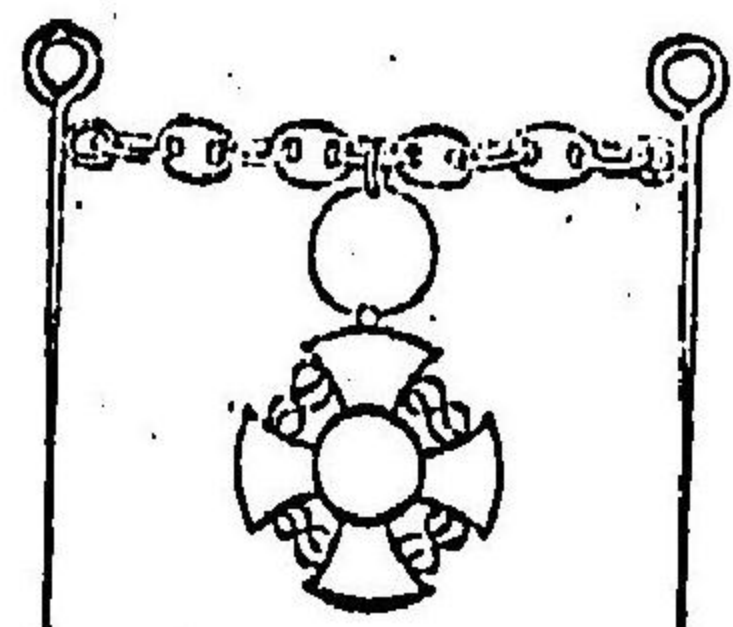
- 一 各種勳章ノ略章(凡ソ徑曲尺五六分若クハ其以下ノ大サニシテ)ハ通常禮服着用ノ時或ル場合ニ於テ逃銀或ハ小綬ヲ以テ左册ニ佩用スルヲ得外國勳章ノ略章モ亦同シ
- 二 略綬ハ通常禮服通常服用ノ節左襟見返シノ鈕孔ニ掛ケ佩フヘシ
- 三 略綬ハ別種二箇以上ノ勳章ヲ有スル者各其綬ト同色ナル絹ヲ以テ二箇若クハ數箇合併ノモノヲ製シ之ヲ佩用スルヲ得又内外數種ノ勳章ヲ有スル者ハ内外數箇合併ノ略綬ヲ製シ之ヲ佩用スルコトヲ得
- 四 我略綬ヲ佩ヒテ外國ノ勳章ヲ佩フルコトナシ

賞勳局總裁 伯奇柳原前光

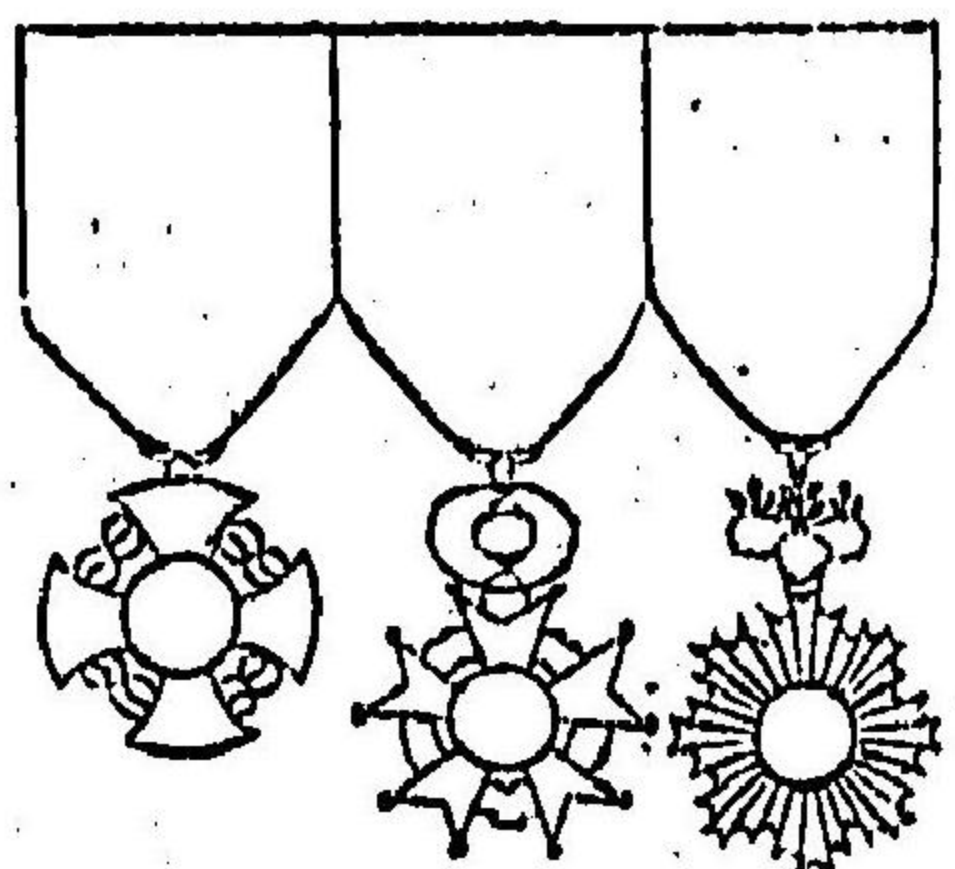
略章ヲ小綬ニテ佩ル圖



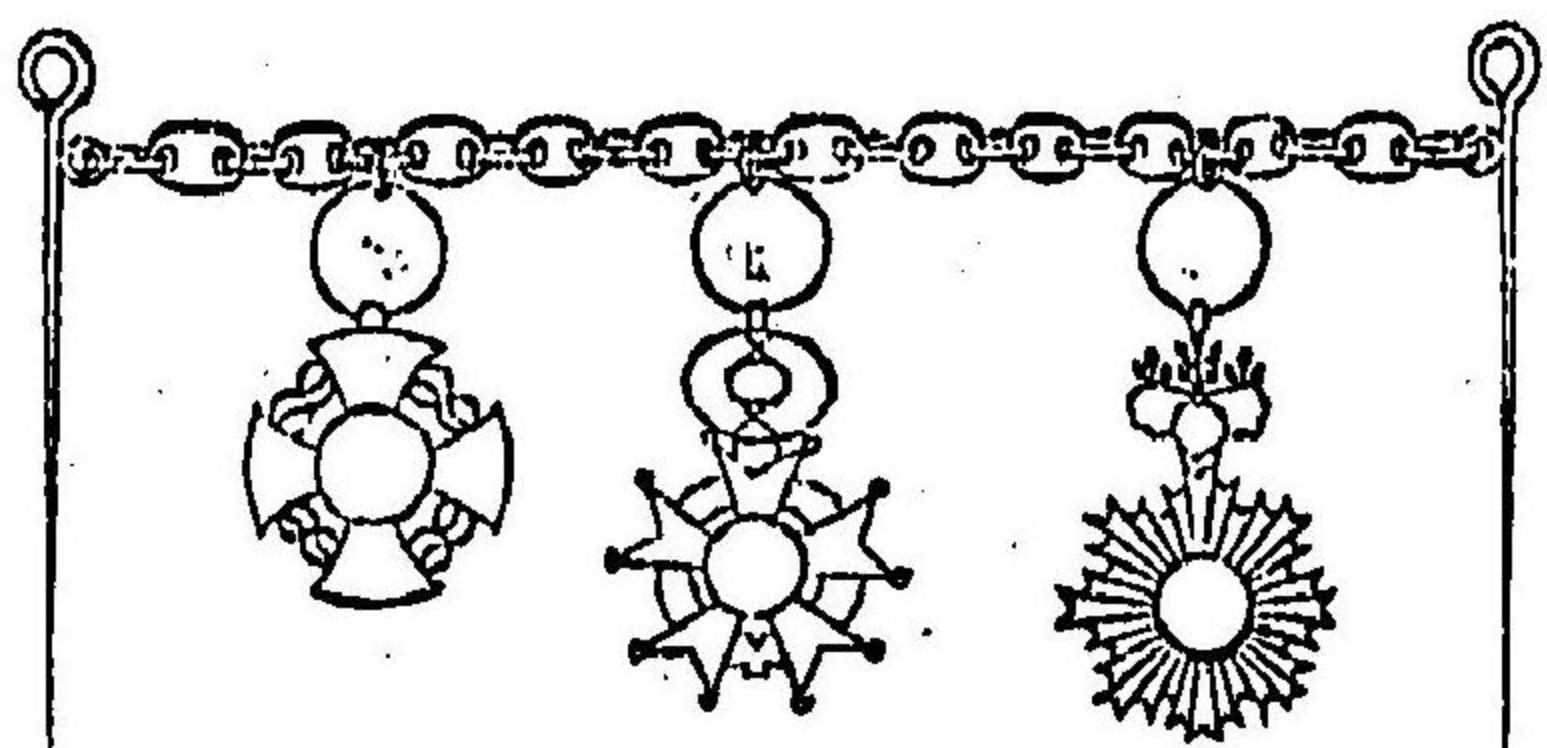
略章ヲ鏈鎖ニテ佩ル圖



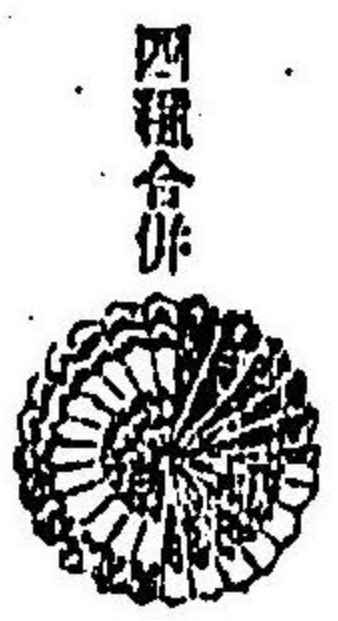
略章ヲ小綬ニテ聯佩スル圖



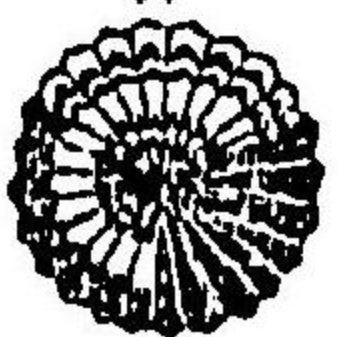
略章ヲ鏈鎖ニテ聯佩スル圖



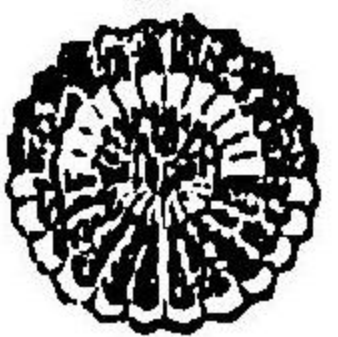
二種以上ノ略綬ヲ合併シタル圖



三種合併



二種合併





○大藏省告示第十六號

二十一年十二月勅令第七十九號ヲ以テ愛媛縣ヲ分割シ香川縣ヲ置カレタルニ付テハ二十一年度備荒儲蓄府縣配付金豫算告示左ノ通り正ス

明治二十二年二月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

一金百萬四千七百五拾五圓	内 七千三百七拾七圓	二十二年四月渡	香川縣
一金百萬七千八百七拾八圓	内 八千九百三拾九圓	二十二年四月渡	香川縣
○大藏省告示第十七號		同 二十二年四月渡	愛媛縣

新瀨第四國立銀行ノ備明治二十二年三月一日ヲ以テ佐渡國雜太郡相川町三丁目第四番地ニ支店ヲ設置ス

明治二十二年二月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第三號

明治十五年以前水戸始審裁判所土浦支廳ニ於テ刑事ニ關シ領置シタル金額物件數種有之候條右下渡ヲ請フモノハ事由ヲ證明シ來ル五月三十一日マテニ同廳へ申出ツヘ

明治二十二年二月十六日

司法大臣伯爵山田顯義

○農商務省告示第三號

明治十八年三月省告示第三號羊毛買上手續本年三月限廢止ス

明治二十二年二月十六日

農商務大臣伯爵井上 馨

○大藏省告示第十八號

一 銀行紙幣百九拾六萬八千貳百六拾七圓五拾錢  
右明治二十一年三月三十一日迄ノ消却銀行紙幣合計ニシテ豫テ廣告セシ通幣省印刷局構内於テ各國立銀行役員立會ノ上擲棄セリ

明治二十二年二月十八日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第十七號

來三月一日ヨリ日向國南那珂郡依肥電信局ヲ三等トシ依肥郵便局ニ合併依肥郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年二月十八日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第十八號

來三月一日ヨリ越後國北魚沼郡小千谷電信局ヲ三等トシ小千谷郵便局ニ合併小千谷郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年二月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第十九號

攝津國菟原郡新在家郵便局本月二十八日限り相廢ス

明治二十二年二月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第二十號

攝津國菟原郡新在家村ニ郵便受取所ヲ置キ新在家村郵便受取所ト稱シ來三月一日ヨリ共事務ヲ取

明治二十二年二月 告示 大藏省第十六號 第十七號 司法省第三號 農商務省第三號



扱ハシム

明治二十二年二月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○內務省告示第四號

明治十八年二月第六號告示國道表第六號中路線變換ニ付有壁ヲ除ク

明治二十二年二月二十二日

內務大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十九號

明治十九年十月勅令第六十六號整理公債條例第六條ニ據リ整理公債第二回募集ノ總額及應募日限等ヲ定ムル左ノ如シ

明治二十二年二月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

- 一 整理公債第二回募集ノ總額ハ五百萬圓トシ證書ノ價格ハ額面百圓ニ付金百圓トス
- 一 應募者ハ來ル三月六日ヨリ同十二月マテニ應募金額價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行本支店又ハ代理店ハ申込ムヘシ
- 一 應募額ニ對スル保證金ノ割合ハ應募額百圓ニ付金拾圓トス
- 一 從前發行六分以上利付公債證書ハ其各種共應募金ノ代リトシテ之ヲ使用スルコトヲ得
- 一 大藏大臣ハ來ル三月二十八日マテニ各應募者ニ交付スヘキ整理公債證書ノ高ヲ定メ日本銀行ヲシテ之ヲ通知セシムルニ付其高ニ對スル金額ノ內保證金ヲ引去リタル跡金ノ拂込ハ之ヲ二期ニ分チ來ル三月三十日ヨリ同四月十三日マテヲ第一期トシ同四月二十五日ヨリ同三十日マテヲ第二期トシ第一期ニ證書額面百圓ニ付五拾圓第二期ニ殘額ヲ拂込ムヘシ但第一期ニ於テ第二期ノ全額又ハ其幾分ヲ併セ拂込ムモ妨ケナシ

○逓信省告示第二十一號

阿波國名東郡西新町郵便受取所本月二十八日限り相廢ス

明治二十二年二月二十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第二十二號

左ノ郵便受取所ヲ置キ來三月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年二月二十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

位 置

名 稱

阿波國名東郡佐古町

佐古町郵便受取所

阿波國名東郡貳軒屋町

貳軒屋町郵便受取所

○逓信省告示第二十三號

明治二十年逓信省告示第六號東京電信學校規則第十一條第五項ヲ削除ス

明治二十二年二月二十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第二十四號

巴里締結里斯木改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第五左ノ通改正ス

明治二十二年二月二十五日

逓信大臣子爵榎本武揚

第五 亞爾日利ハ佛蘭西ノ一部ト看做シ「モナコ」侯國及「ダンヂェル」(モロコシ)並ニ上海(清國)

ニ設置ノ佛國郵便局ハ佛蘭西郵政廳ニ屬スルモノトシ「カンボヂヤ」安南及「トンキン」ハ郵便事務上ニ於テハ交趾支那佛國殖民地ト同様タルヘシ

○逓信省告示第二十五號

來ル三月一日ヨリ武藏國鴻巣下野國那須相模國藤澤及國府津鐵道停車場電信取扱所ニ於テハ左ノ區域内ニ宛タル電報ハ其取扱所ヨリ直ニ配達シ且武藏國鴻巣下野國那須鐵道停車場電信取扱所ニ於テハ別便配達ヲナス

明治二十二年二月二十五日

逓信大臣子爵榎本武揚







創定部

國名	經山地	信	書	簿	留	新	間	紙	印刷物及商品見本
オランダ	英	二十	十二	十二	六	四	九	七	十六
フランス	英	二十四	十二	十二	六	四	九	七	十六

改正部

國名	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英	英
アッセン	二十	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
ベチエ	二十四	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
喜望峯	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
マダガスカル	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
セント	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
セント	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
トランス	二十四	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
メル	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六

英船ヲ以テ搬送シテブリテン島ニシテ經由スルモノハ信書十五グラムニ付貳錢及印刷物商品見本五グラムニ付各費銀ノ増徴ヲ課ス

○大藏省告示第二十一號  
東京第九十五國立銀行名古屋支店ノ備本月二十八日限閉鎖ス

明治二十二年二月二十八日

大藏大臣伯耆方正義

○陸軍省告示第二號

徵兵令第二十六條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セント欲スル者ハ本年勅令第十三號改正徵兵事務條例第七十四條ニ依リ三月一日ヨリ同月十五日迄ニ願出可キノ處該條例施行期限内右期日ヲ過クル地方ハ施行期限後十日以内ニ願出ルコトヲ得

明治二十二年二月二十八日

陸軍大臣伯耆大山 巖

○陸軍省告示第三號

徵兵令第十一條ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ本年勅令第十四號陸軍一年志願兵條例第三十二條ニ依リ三月十五日迄ニ願出可キノ處該條例施行期限内右期日ヲ過クル地方ハ施行期限後十日以内ニ願出ルコトヲ得

明治二十二年二月二十八日

陸軍大臣伯耆大山 巖

○文部省告示第一號

明治十九年十一月十二日 文部省令第二十一號尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員免許規則ニ依リ本年十一月檢定方施行スヘキニ付檢定ヲ受ケント欲スルモノハ八月三十一日マテニ右願書等ヲ地方廳ニ差出シ地方廳ニ於テハ九月二十日マテニ當省ニ差出ス可シ

明治二十二年二月二十八日

文部大臣伯耆大山 巖



○大藏省告示第二十二號  
 本年四月一日ヨリ六月三十日迄輸入従價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左  
 ノ通之ヲ定ム  
 但外國銀貨日本銀貨トノ比較ハ従前ノ通

明治二十二年三月一日

大藏大臣伯爵松方正義

外國貨幣日本銀貨比較表		日本銀貨
英 官 利	一ポンド	六五二七
葡 國 幣	一ペーラー	三一八
北米合衆國	一ドル	一三三七
佛 國 幣	一フラン	二五七
瑞 國 幣	一クローナ	二五七
白 耳 齒	一マルク	二五七
伊 太 利	一リラ	二五七
丁 株	一クローナ	三五八
瑞 典 幣	一クローナ	三五八
瑞 國 幣	一クローナ	三五八
和 國 幣	一ギルド	五三八
西 班 牙	一ペーラー	〇六七



番	番	番	番
出	平	其	一
			一
			五
			九

○大藏省告示第二十三號

一租稅監査印章 照合用三字朱印 第一四九〇號 壹枚  
 兵庫縣下川邊郡木器村外七箇村戸長役場備置ノ分  
 右紛失ノ旨兵庫縣ヨリ届出候條發見ノ節ハ該地方廳へ送致スヘシ該廳ニ於テハ其旨當省へ届出ヘ  
 明治二十二年三月一日  
 大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第二十七號

來ハ四月一日ヨリ新編逓信管理局及名古屋逓信管理局管轄區ヲ東京逓信管理局ニ於テ丸龜逓信管  
 理局管轄區ヲ大阪逓信管理局ニ於テ山形逓信管理局管轄區ヲ仙臺逓信管理局ニ於テ併管セシム  
 明治二十二年三月一日  
 逓信大臣子爵榎木武揚

○逓信省告示第二十八號

本年一月中西洋形船へ左ノ逓信號符字ヲ附  
 明治二十二年三月一日  
 逓信大臣子爵榎木武揚

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定 額	船主氏名
HGRP	一一三	阿波丸 Asu Maru	汽	阿波國古川	共同汽船會社
HGRQ	一一四	天保丸 Amatsu Maru	汽	東 京	大東汽船

HGRS	一一五	岩水丸 Iwaki Maru	汽	陸奥國磐ヶ澤	小笠原仁太郎
HGRT	一一六	枝垂丸 Yesshi Maru	帆	波島國函館	白坂 西松

○大藏省告示第二十四號

一紙幣百八拾八萬千貳百拾圓也  
 右ハ銀貨ト交換支消セシ紙幣五拾圓以下損傷紙幣補助銀貨ト交換ノ分及紙幣ト交換セシ損傷紙幣  
 等ノ合計ニシテ二月二十五日ヨリ同二十八日迄印刷局構内ニ於テ會計檢査院官吏立會燒棄セリ  
 明治二十二年三月五日  
 大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第二十九號

若狹國三方郡佐柿郵便局郵便爲替事務本月三十一日限り閉鎖シ來四月一日ヨリ同國同郡三方郵便  
 局へ該事務ヲ開施ス  
 但佐柿郵便局爲替事務閉鎖後同局宛未拂ノ爲替ハ渾テ三方郵便局ニ於テ拂渡ヲ爲サシム  
 明治二十二年三月六日  
 逓信大臣子爵榎木武揚

○海軍省告示第四號

在東京ノ海軍軍樂隊ヲ借用セントスル者ハ自今海軍軍樂練習所長ニ請求スヘシ  
 明治二十二年三月八日  
 海軍大臣伯爵西郷從道

○逓信省告示第三十號

本月十六日ヨリ伊豫國新居郡西條郵便局ヲ西條郵便電信局トシ共事務ヲ取扱ハシム  
 但シ歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス



明治二十二年三月八日

○逓信省告示第三十一號

下野國小山鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來四月一日ヨリ公衆ノ逓信取扱ヲ開始ス  
但其取扱ハ左ノ事項ニ據ル

逓信大臣子爵榎本武揚

明治二十二年三月九日

逓信大臣子爵榎本武揚

一萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報ハ之ヲ取扱ハス

一公衆ノ逓信取扱時間ニ關シテ左ノ如シ

毎年四月一日ヨリ九月三十日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ  
毎年十月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一別便配達ヲ取扱ハズ及ヒ左ノ區域内ニ於ケル電報ハ直ニ配達ヲナス

配達區域 小山宿市内

○逓信省告示第三十二號

伊豫國温泉郡紙屋町郵便受取所ヲ同郡本町一丁目ニ移シ本町郵便受取所ト改稱ス

明治二十二年三月九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第三十三號

伊豫國温泉郡紙屋町郵便貯金預所ヲ同郡本町一丁目ニ移シ本町郵便貯金預所ト改稱ス

明治二十二年三月九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○大藏省告示第二十五號

明治八年發行

一金札引換公債證書額面貳万貳千圓  
右發行年限滿期ニ付キ本月元金償還ノ手續ヲナス

一新公債元金壹万圓

一金札引換公債元金壹万圓

一金札引換無記名公債元金壹万圓

一五分金祿公債元金壹万圓

一六分金祿公債元金壹万圓

一起業公債元金壹万圓

一中山道鐵道公債元金壹万圓

右二十二年度歲計豫算ニ據リ償還ノ爲メ本月中抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十二年三月十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○内務省告示第五號

明治二十年告示第三號國道路線表四十八號中路線變換ニ付佐賀視察間ニ若津ヲ加フ

明治二十二年三月十一日

内務大臣伯爵松方正義

○陸軍省告示第四號

昨明治二十一年十月當省告示第十五號士官候補生及幼年學校生徒志願者心得取扱手續中左ノ通  
改正ス

明治二十二年三月十二日

陸軍大臣伯爵大山 巖



第十五條中「四月二十一日」ヲ「五月十日」ニ改メ第五條ノ全文ヲ削除シ第六條ヲ第五條ト爲シ以下逐條繰上ケ第八號書式中「万」云々辨償可仕ノ六十四字及第九號書式中「入學中若シ官給ヲ相受ケ云々」辨償可仕ノ七十七字ヲ削除ス

○遞信省告示第三十四號

越中國婦負郡三ツ松郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

○遞信省告示第三十五號

左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

- 阿波國板野郡明神郵便局 讚岐國香川郡中笠居村香西郵便局
- 伊豫國北宇和郡近永郵便局 伊豫國北宇和郡下鏡山郵便局
- 伊豫國喜多郡出海郵便局 伊豫國下浮穴郡串村豊田浦郵便局
- 伊豫國下浮穴郡津津郵便局 伊豫國上浮穴郡北平村名場連郵便局
- 伊豫國野間郡大井郵便局 伊豫國喜多郡成能郵便局
- 土佐國長岡郡稻生郵便局 土佐國土佐郡布師田郵便局
- 土佐國長岡郡上倉郵便局 土佐國長岡郡仁井田濱郵便局
- 土佐國高岡郡能津郵便局 土佐國香川郡下八川郵便局

○遞信省告示第三十六號

土佐國香川郡柳ヶ瀬村二三等郵便局ヲ置キ柳ヶ瀬村出來地郵便局ト稱シ來々四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

○遞信省告示第三十七號

左ノ郵便受取所本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

- 阿波國三好郡芝生村郵便受取所 阿波國板野郡大代村郵便受取所
- 阿波國三好郡川崎村郵便受取所 阿波國美馬郡曾江山落合郵便受取所

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

位 置	名 稱
阿波國板野郡明神村	明神村郵便受取所
讚岐國香川郡中笠居村	中笠居村香西郵便受取所
伊豫國野間郡新町村	新町村大井郵便受取所
土佐國土佐郡布師田村	布師田村郵便受取所
土佐國長岡郡稻生村	稻生村郵便受取所
土佐國長岡郡仁井田村	仁井田濱郵便受取所
土佐國香川郡秋山村	秋山村郵便受取所

○遞信省告示第三十九號

明治二十二年三月 官報 遞信省第三十七號 第三十八號 第三十九號



左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 羽前國南村山郡妙見寺郵便局 | 羽前國東村山郡吉野宿郵便局 |
| 羽前國東村山郡風間郵便局  | 羽前國西村山郡松程郵便局  |
| 羽前國西村山郡入間郵便局  | 羽前國北村山郡正殿郵便局  |
| 羽前國北村山郡長瀬郵便局  | 羽前國西置賜郡鮎貝郵便局  |
| 羽前國西置賜郡小玉川郵便局 | 羽前國最上郡中渡郵便局   |
| 羽前國東田川郡本郷郵便局  | 羽前國西田川郡小名部郵便局 |
| 羽前國西田川郡黒森郵便局  | 羽前國西田川郡長崎郵便局  |
| 羽前國西田川郡湯野濱郵便局 | 羽後國飽海郡北目郵便局   |
| 羽後國飽海郡飛鳥郵便局   | 羽後國飽海郡上磯岡郵便局  |
| 羽後國飽海郡本楯郵便局   | 羽後國飽海郡手藏田郵便局  |
| 羽後國山本郡鶴川郵便局   | 羽後國山本郡槍山郵便局   |
| 羽後國山本郡八森本郷郵便局 | 陸中國鹿角郡小坂郵便局   |

遞信大臣子爵榎木武揚

○遞信省告示第四十號

左ノ郵便局ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

- |           |    |       |   |
|-----------|----|-------|---|
| 羽後國飽海郡遊佐町 | 等級 | 名     | 稱 |
| 羽後國山本郡水澤村 | 三等 | 遊佐郵便局 |   |
|           | 三等 | 水澤郵便局 |   |

遞信大臣子爵榎木武揚

○遞信省告示第四十一號

左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 肥後國天草郡立野郵便局  | 肥後國天草郡柳浦郵便局      |
| 肥後國八代郡大福寺郵便局 | 肥後國上益城郡上野村西上野郵便局 |
| 薩摩國日置郡苗代川郵便局 | 薩摩國日置郡串木野郵便局     |
| 薩摩國高城郡高城郵便局  |                  |

遞信大臣子爵榎木武揚

○遞信省告示第四十二號

左ノ郵便局ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

- |            |    |       |   |
|------------|----|-------|---|
| 肥後國天草郡上村   | 等級 | 名     | 稱 |
| 肥後國上益城郡七瀬村 | 三等 | 上村郵便局 |   |
|            | 三等 | 七瀬郵便局 |   |

遞信大臣子爵榎木武揚

○遞信省告示第四十三號

左ノ郵便受取所ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 薩摩國高城郡高城郷龍村    | 龍村郵便受取所   |
| 薩摩國日置郡串木野郷串木野町 | 串木野町郵便受取所 |
| 薩摩國日置郡伊集院郷苗代川村 | 苗代川村郵便受取所 |

遞信大臣子爵榎木武揚



○遞信省告示第四十四號  
左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス  
明治二十二年三月十二日

- 周防國熊毛郡上ノ關郵便局
- 周防國熊毛郡三輪市郵便局
- 周防國玖珂郡通津郵便局
- 周防國大島郡東安下庄郵便局
- 周防國佐波郡中ノ關郵便局
- 長門國阿武郡嘉年郵便局
- 長門國豐浦郡殿居郵便局
- 豐後國日田郡五馬市郵便局
- 豐後國速見郡野原郵便局
- 豐後國東國東郡櫻屋郵便局
- 豐後國直入郡次倉郵便局
- 豐後國大野郡後田郵便局
- 豐後國南海部郡床木郵便局
- 筑前國糟屋郡箱崎郵便局
- 筑前國遠賀郡上底井野郵便局
- 筑後國御井郡八丁島郵便局
- 筑後國上妻郡山内郵便局
- 周防國熊毛郡水場郵便局
- 周防國玖珂郡今津郵便局
- 周防國玖珂郡大島郵便局
- 周防國佐波郡岸見郵便局
- 周防國吉敷郡仁保郵便局
- 長門國厚狹郡有帆郵便局
- 長門國赤間關區彦島郵便局
- 豐後國玖珠郡惠良郵便局
- 豐後國西國東郡相原郵便局
- 豐後國東國東郡伊美郵便局
- 豐後國大野郡神堤郵便局
- 豐後國大野郡宮生郵便局
- 豐後國南海部郡楠木郵便局
- 筑前國糟屋郡志賀島郵便局
- 筑後國御原郡小郡郵便局
- 筑後國御井郡御井町府中郵便局
- 筑後國生葉郡千足郵便局
- 遞信大臣子爵榎木武揚
- 周防國熊毛郡小周防郵便局
- 周防國玖珂郡關戸郵便局
- 周防國大島郡日前郵便局
- 周防國佐波郡大原郵便局
- 周防國吉敷郡嘉川郵便局
- 長門國豐浦郡粟野浦郵便局
- 豐前國宇佐郡盛崎郵便局
- 豐後國速見郡川上郵便局
- 豐後國西國東郡香々地郵便局
- 豐後國大分郡賀來郵便局
- 豐後國大野郡今市郵便局
- 豐後國南海部郡江真郵便局
- 豐後國南海部郡丸市尾郵便局
- 筑前國遠賀郡吉水郵便局
- 筑後國御原郡木郷郵便局
- 筑後國上妻郡白木郵便局
- 筑前國神崎郡進池郵便局

肥前國西彼杵郡伊木力郵便局

肥前國北高來郡井崎郵便局

肥前國南高來郡千々石郵便局

○遞信省告示第四十五號

左ノ郵便受取所本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

- 筑前國築城郡松江村郵便受取所
- 筑前國宗像郡津屋崎村郵便受取所
- 筑後國三潁郡城島村郵便受取所
- 筑後國山木郡草野村郵便受取所
- 筑前國上座郡三奈木村郵便受取所
- 筑前國上座郡福井村郵便受取所
- 筑後國山門郡沖ノ端村郵便受取所

- 筑前國上座郡三奈木村郵便受取所
- 筑前國上座郡福井村郵便受取所
- 筑後國山門郡沖ノ端村郵便受取所

○遞信省告示第四十六號

來ル四月一日ヨリ左ノ通郵便局移轉改稱ス

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

國	郡	名	舊位	新位	改稱
長門國	阿武郡	中小川村	呼取村	今市郵便局	呼取郵便局
周防國	熊毛郡	今市村	呼取村	今市郵便局	呼取郵便局

○遞信省告示第四十七號

左ノ郵便局ヲ此キ來ル四月一日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

遞信大臣子爵榎木武揚

- 豐後國日田郡坊野村 三等 枌野郵便局



豐後國遠見郡川西村

三等 川西郵便局

○遞信省告示第四十八號

左ノ郵便受取所ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十二日

逓信大臣子爵榎本武揚

位 名 稱

- 周防國佐波郡田島村中ノ關 田島村中ノ關郵便受取所
- 周防國吉敷郡嘉川村 嘉川村郵便受取所
- 筑前國糟屋郡箱崎村 箱崎村郵便受取所
- 筑前國糟屋郡志賀島村 志賀島村郵便受取所
- 筑後國御原郡小郡町 小郡町郵便受取所
- 筑後國御井郡御井町 御井町郵便受取所
- 筑後國上妻郡山内村 山内村郵便受取所
- 肥前國神埼郡蓮池村 蓮池村郵便受取所

○遞信省告示第四十九號

來ル四月一日ヨリ羽前國西置賜郡小出電信局ヲ三等トシ小出郵便局ニ合併小出郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及並刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

逓信大臣子爵榎本武揚

○內務省告示第六號

- 一 西野文太郎略傳 下谷縣新井町一丁目四十三番地佐野文太郎傳行
- 一 古今百家傳西野文太郎 下谷縣新井町一丁目十六番地佐野文太郎傳行
- 一 故西野文太郎辭世 神田區山本町二十番地龜田宮三傳行
- 一 西野文太郎著肖像 京橋區南町一丁目一番地小川實松傳行

右四種ノ出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

內務大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第五十號

左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

- 尾張國知多郡緒川郵便局 尾張國知多郡有松郵便局 三河國寶飯郡西方郵便局
- 美濃國加茂郡三川郵便局 美濃國惠那郡藤川郵便局 飛騨國益田郡下原郵便局

○遞信省告示第五十一號

左ノ郵便局ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

- | 位 名 稱        | 等級           |
|--------------|--------------|
| 尾張國知多郡大符村    | 三等 大符郵便局     |
| 美濃國惠那郡中野方村   | 三等 中野方郵便局    |
| 飛騨國益田郡中原村保井戸 | 三等 中原村保井戸郵便局 |

○遞信省告示第五十二號

明治二十二年三月 告示 遞信省第五十號 第五十一號 第五十二號



左ノ郵便受取所ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十三日

逓信大臣子爵榎本武揚

尾張國知多郡有松村 有松村郵便受取所  
美濃國厚見郡加納町 加納町郵便受取所

○大藏省告示第二十六號

一金壹千萬圓

七分利付金祿公債元金

右金額償還ノ爲メ本月申抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十二年三月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第五十三號

巴里締結里斯木改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第四條貨幣比例表中英領殖民地ノ部第一類中「ホンヂュラス」ヲ削除シ同部第二類ト第三類ノ間ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治二十二年三月十四日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第五十四號

一乙種郵便等運轉手免狀 明治十九年六月十日發給

右ハ愛媛縣士族白形勘太郎所有ノ處帆船長春丸へ乗組執職中明治二十年三月北見國利尻島海岸ニ於テ木船遭難ノ際流失セシ旨届出ニ依リ共所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ツヘシ但該免狀ハ無

効ニ屬ス

明治二十二年三月十四日

逓信大臣子爵榎本武揚

○内務省告示第七號

一箱 西野文太郎傳 一冊

際布置材木町五十四番地高山管内發行

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年三月十五日

内務大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第二十七號

明治十七年五月第十八號公布兌換銀行券ノ内令般壹圓券改造候ニ付該見本各地方廳へ下ケ渡シ置候條現品熟覽ヲ要シ置候様致ス可シ

但各地方廳ニ於テハ三箇月間人民へ差示シ候上直チニ當省へ返納スヘシ

明治二十二年三月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第二十八號

一明治十九年十月勅令第六十六號整理公債條例第三十條ニ據リ六分以上利付公債證券ノ元金償還ノ時本人ノ請求ニ由リテ整理公債證券ヲ交付スルトキハ日本銀行ヲシテ其請求期限及其他ノ手續ヲ廣告セシム

一償還ヲ受クヘキ證券ノ額面五拾圓未滿ニシテ整理公債證券ノ額面ニ滿タサルモノアルトキハ之ニ他ノ六分以上利付公債證券ヲ加ヘテ前項ノ請求ヲナスコトヲ得

一償還元金ノ代リトシテ交付スル整理公債證券ノ利子ハ請求期限内申込ヲナシタルモノニシテ金祿公債 中山道鐵道公債 金札引換無記名公債證券ニ對シテ交付スルモノニハ償還ノ翌月ヨリハ札



引換公債及起業公債證書ニ對スルモノニハ其償還月ノ十五日以前ニ在レハ下半月ヨリ月ノ十六日以後ニ在レハ翌月分ヨリ之ヲ付シ期限外ニ申込ヲナシタルモノニハ何レモ申込ノ翌月ヨリ之ヲ付ス

明治二十二年三月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○農務省告示第四號

明治十九年五月警備第十三號告示ヲ廢ス

明治二十二年三月十五日

農務大臣伯爵井上 馨

(參照) 農務省告示第十三號(明治十九年五月二十一日官報)

警備告示及起業公債證書ニ對スルモノニハ其償還月ノ十五日以前ニ在レハ下半月ヨリ月ノ十六日以後ニ在レハ翌月分ヨリ之ヲ付シ期限外ニ申込ヲナシタルモノニハ何レモ申込ノ翌月ヨリ之ヲ付ス

白鳥 愛知縣下尾張國愛知郡豐田

○逓信省告示第五十五號

來ル四月十五日頃ヨリ青森縣陸奥國下北郡尻矢崎燈臺ニ設置セル第二等不動白色ノ燈明ヲ第二等回轉白色ノ燈明ニ變換シ爾後毎夜點火スヘ

一該燈火ハ真方位南五十二度十八分西ヨリ南二度四十三分西マテ三百十度二十五分間ニ於テ二十秒時毎ニ一閃光ヲ發ス

一該燈火ハ水面ヨリ高サ十五丈其光達距離ハ晴天ノ夜十八海里半トス

明治二十二年三月十五日

逓信大臣子爵樺木武揚

○內務省告示第八號

東京ヨリ香川縣ニ連スル國道路線左ノ通相定ム

明治二十二年三月十六日

內務大臣伯爵松方正義

五十號	地 名	管 轄	名 稱	備 考
一	日本橋	東京府	日本橋	
二	四 號	東京府	四 號	
三	三十一號	東京府	三十一號	
四	丸 龜	香川縣	丸 龜	
五	出 香	香川縣	出 香	
六	分 香	香川縣	分 香	
七	同 香	香川縣	同 香	
八	同 香	香川縣	同 香	
九	同 香	香川縣	同 香	
十	同 香	香川縣	同 香	

○內務省告示第九號

一淨世一ツトセギ

一淨世一ツトセギ

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年三月十六日

內務大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第二十九號

起業公債證書無記名 五拾圓 第壹號 壹貳五番 壹枚

明治二十二年三月 告示 內務省告示第九號 大藏省告示第二十九號



同 五拾圓 第貳號 四七八參幣  
 同 五拾圓 第三號 七五五參幣  
 九貳貳參幣 貳枚  
 九貳六五參幣 三枚

右ハ昨二十一年十二月十八日及本年一月二十四日發行ノ處置書面印形觀認ノ廢有之ニ付該處置書面有者ハ第一國立銀行三井銀行本支店及代理店ニ就テ引換ヲ請求スヘシ  
 明治二十二年三月十六日 大藏大臣伯耆松方正義

○陸軍省告示第五號  
 陸軍一年志願兵條例第六條ニ依リ本年官費ヲ以テ服役ヲ許可スヘキ人員左ノ通定ム  
 明治二十二年三月十六日 陸軍大臣伯耆大山 巖

兵種	條例第六條						計
	歩兵	騎兵	砲兵	工兵	衛生兵	醫官	
第一師	三三	二	四	一	三九	五九	五九
第二師	四八	二	六	三	五九	五六	五六
第三師	四八	〇	六	二	五六	五七	五七
第四師	四八	〇	六	三	五六	五七	五七
第五師	四八	〇	六	三	五六	五七	五七
第六師	四八	〇	六	三	五六	五七	五七
計	三三〇	四	四〇	一六	三八〇		

第六條第二項ノ者前記ノ定員ニ滿ササルトキハ其定員ニ滿ラズル迄之ヲ計ス

附 近衛隊ニ於テ服役セシム可キ者ハ第一師團ニ於テ出願ノ者ニ限ル

○逓信省告示第五十六號

來ル四月一日ヨリ羽後國飽海郡吹浦郵便局ニ於テ貯金事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十六日 逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第五十七號  
 左ノ郵便貯金預所ヲ置キ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月十六日 逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第五十八號  
 羽後國南秋田郡上通町郵便貯金預所 羽後國南秋田郡木町郵便貯金預所

來ル四月一日ヨリ左ノ郵便局ニ於テ各其下ニ記載スル郵便局貯金事務ヲ繼續取扱ハシム

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 周防國熊毛郡波野市郵便局   | 周防國熊毛郡三輪市郵便局  | 逓信大臣子爵榎本武揚   |
| 周防國玖珂郡通津郵便局    | 豐後國速見郡川西郵便局   | 周防國玖珂郡由宇郵便局  |
| 肥前國北高來郡湯江郵便局   | 肥前國北高來郡非崎郵便局  | 豐後國速見郡川上郵便局  |
| 土佐國長岡郡上倉郵便局    | 羽後國飽海郡遊佐郵便局   | 土佐國長岡郡植野郵便局  |
| 羽後國山木郡水澤郵便局    | 羽後國山木郡八森木郷郵便局 | 羽後國飽海郡上城岡郵便局 |
| 羽前國西置賜郡萩ノ中山郵便局 | 肥後國天草郡上村郵便局   | 羽前國南村山郡柏倉郵便局 |
| ○逓信省告示第五十九號    |               | 肥後國天草郡柳浦郵便局  |

來ル四月一日ヨリ左ノ郵便貯金預所ヲ置キ同日ヨリ各其下ニ記載スル郵便局貯金事務ヲ繼續取扱ハシム

明治二十二年三月十六日 逓信大臣子爵榎本武揚

逓信大臣子爵榎本武揚



周防國佐波郡中ノ關郵便貯金預所

周防國佐波郡中ノ關郵便局

筑前國糟屋郡箱崎郵便貯金預所

筑前國糟屋郡箱崎郵便局

筑後國御原郡小郡郵便貯金預所

筑後國御原郡小郡郵便局

筑後國御井郡御井町府中郵便貯金預所

筑後國御井郡御井町府中郵便局

筑後國上妻郡山内郵便貯金預所

筑後國上妻郡山内郵便局

三河國寶飯郡西方郵便貯金預所

三河國寶飯郡西方郵便局

○逓信省告示第六十號

本月三十一日限り左ノ郵便局ニ係ル郵便貯金事務取扱ヲ廢止ス

明治二十二年三月十六日

逓信大臣子爵榎本武揚

羽前國南村山郡高湯郵便局

羽前國西置賜郡萩ノ中山郵便局

○逓信省告示第六十一號

能登國鳳至郡鈴屋郵便局ヲ來ル四月一日ヨリ同國同郡粟藏村ニ移シ粟藏郵便局ト改稱ス

明治二十二年三月十六日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十二號

肥後國天草郡上村郵便局ニ於テ來ル四月一日ヨリ郵便事務ヲ開施ス

明治二十二年三月十六日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十三號

肥後國天草郡柳井郵便局振宛ノ爲替ニシテ來ル四月一日以後未拂ノ分ハ渾テ同國同郡上村郵便局ニ於テ拂渡ヲナサシム

明治二十二年三月十六日

逓信大臣子爵榎本武揚

○内務省告示第十號

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ佐賀縣管下佐賀ヲ市制施行地ニ指定ス

内務大臣伯爵松方正義

明治二十二年三月十八日

○大藏省告示第三十號

明治十九年六月勅令第四十七號海軍公債證券條例ニ據リ募集スル海軍公債第四回募集ノ總額及應募日限等ヲ定ムル左ノ如シ

一海軍公債第四回募集ノ總額ハ四百萬圓トシ證書ノ價格ハ額面百圓ニ付金百圓トス

一應募者ハ來ル四月一日ヨリ同八月マテニ應募金額價格及住所姓名ヲ詳記シ日本銀行木支店又ハ代理店ヘ申込ムヘシ

一應募額ニ對スル保證金ノ割合ハ應募額百圓ニ付金拾圓トス

一大藏大臣ハ來ル四月二十五日マテニ各應募者ニ交付スヘキ海軍公債證券ノ高ヲ定メ日本銀行ヲシテ之ヲ通知セシムルニ付其高ニ對スル金額ノ内保證金ヲ引去リタル跡金ノ拂込ハ之ヲ二期ニ分チ來ル四月二十七日ヨリ同五月七日マテ第一期トシ五月十六日ヨリ同二十五日マテ第二期トシ第一期ニ額面百圓ニ付金五拾圓第二期ニ其殘額ヲ拂込ムヘシ

但第一期ニ於テ第二期ノ全額又ハ其幾分ヲ併セ拂込ムモ妨ケナシ

明治二十二年三月十八日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十一號

明治十九年十二月第百十三號告示別項運賃保險料ノ割合左ノ通改正四月一日ヨリ施行ス

明治二十二年三月十九日

大藏大臣伯爵松方正義

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十一號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十二號

明治二十二年三月 皇 諭 第六十三號







明治二十二年三月十九日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十六號

來ル四月一日ヨリ伊豫國喜多郡大洲電信局ヲ三等トシ大洲郵便局ニ合併大洲郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

但シ管分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年三月二十一日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十七號

來ル四月一日ヨリ美濃國武儀郡關村電信局ヲ三等トシ關野郵便局ニ合併關野郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

但シ管分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年三月二十一日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十八號

來ル四月一日ヨリ美濃國惠那郡中津川郵便局ヲ中津川郵便電信局トシ共事務ヲ取扱ハシム

但シ管分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年三月二十一日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第六十九號

左ノ郵便受取所ヲ置キ來ル四月一日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十二年三月二十一日

逓信大臣子爵榎本武揚

横越國香川郡西新通町 西新通町郵便受取所

横越國香川郡通町

通町郵便受取所

○大藏省告示第三十二號

本年一勅令第六號鐵道費補充公債條例ニ據リ發行スル該證書ノ見本千圓五百圓百圓五拾圓ノ四種

壹枚宛北海道廳府縣廳及日本銀行木支店代理店ヘ交付ス

但記名證書ハ證書額面欄内ヘ記名ノ二字及利札ノ四隅ニ跨リ記名ノ印ヲ押捺ス

明治二十二年三月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第七十號

來四月一日ヨリ羽前國最上郡新庄電信局ヲ三等トシ新庄郵便局ニ合併新庄郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

但シ管分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年三月二十二日

逓信大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第七十一號

大阪府所轄商船學校ハ本年四月一日ヨリ管省ニ於テ管理シ東京商船學校大阪分校ト稱ス

明治二十二年三月二十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第七十二號

東京商船學校規則第三十五條第三十六條丁號自費生證書式及函館商船學校規則第二十四條左ノ通

明治二十二年三月二十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

東京商船學校規則



第三十五條 自費生ハ毎月末ニ其費ヲ納ムヘシ  
 第三十六條 貸費生修業中又ハ卒業後死亡シ或ハ業務上ノ爲メ瀕疾不具トナル者ハ尙職ノ上貸與金ヲ取立テサルコトアルヘシ  
 丁號自費生證書式用紙並紙二ツ折  
 印紙貼用

私備自費ヲ以テ入學許可相成候ニ付テハ諸經費金トシテ卒業迄毎月遣拂タル實費額ヲ其月末ニ上納可仕若シ之ヲ怠リ候節ハ保證人ヨリ辨納可仕候依テ證書如此候也

年 月 日

某(縣)族平民  
 英國某(縣)某(町)何番地住某子弟或ハ附籍  
 本人 何 某印  
 何年何月生  
 某(縣)族平民  
 東京府下某(縣)某(町)何番地  
 保證人 何 某印  
 同  
 同 何 某印

東京商船學校校長某殿  
 本人並保證人共向後換領轉宿又ハ改印候節ハ速ニ御届可仕候也  
 區郡役所ノ奥書前ニ同シ

函館商船學校規則

第二十四條 貸費生修業中若シハ卒業ノ後死亡シ或ハ業務上ノ爲メ瀕疾不具トナル者ハ尙職ノ上貸費金ヲ取立テサルコトアルヘシ

○逓信省告示第七十三號

來四月一日ヨリ下野國那須郡大田原郵便局ヲ大田原郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム  
 但シ舊分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞歐字ヲ記入シメル和文電報ハ取扱ハス  
 明治二十二年三月二十五日  
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第七十四號

來四月一日ヨリ上總國水更津及遊江國森町電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ其事務ヲ取扱ハシム  
 但舊分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞歐字ヲ記入シメル和文電報ハ取扱ハス  
 明治二十二年三月二十五日  
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

局名  
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

上總國望陀郡  
 水更津郵便電信局  
 遊江國周知郡  
 森町郵便電信局

○逓信省告示第七十五號

來四月一日ヨリ下總國千葉郡千葉郵便局電信局ヲ合併千葉郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム  
 明治二十二年三月二十七日  
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第七十六號

本月三十一日限武藏國神奈川電信局ヲ廢シ更ニ來四月一日ヨリ同所鐵道停車場電信取扱所ニ於テ



公衆ノ通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時間 但左ノ電報ハ當分發著共之ヲ取扱ハス

明治二十二年三月二十七日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

- 一 返信料前納電報
- 一 尋問電報
- 一 別使配達電報
- 一 萬國電信條約書ニ據リ取扱フ電報

○逓信省告示第七十七號

武藏國神奈川鐵道停車場電信取扱所ニ於テハ電報ノ配達ヲナス其區域ハ一里以内トス

明治二十二年三月二十七日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第七十八號

一 汽船長久丸検査證書 明治二十二年一月十八日登簿

右ハ大阪府北區富島町拾四番地大阪商船會社受有ノ處本月十日本船多度津岡山間航海中検査證書

流失候旨届出ニ依リ其所を見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘシ但該證書ハ無効ニ屬ス

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第七十九號

上野國鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來四月一日ヨリ公衆ノ通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時間 電報依ハ午前六時ヨリ午後六時マテトシ西上磯部村内ニ宛タル電報ハ該取扱所ニ於テ直ニ配達ヲ 但返信料前納電報、尋問電報、別使配達電報及ヒ萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報ハ發著ト

モ之ヲ取扱ハス

明治二十二年三月二十八日

○逓信省告示第八十號

來四月一日ヨリ備前國岡山區岡山郵便局電信局ヲ合併シ岡山郵便電信局ト稱シ同日ヨリ共事務ヲ 取扱ハシム

明治二十二年三月二十八日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第八十一號

武藏國神田區三河町二丁目郵便貯金預所ヲ來ハ四月一日ヨリ三河町郵便貯金預所ト改稱ス

明治二十二年三月二十九日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第八十二號

武藏國下谷區金杉上町郵便貯金預所本月三十一日限り相廢ス

明治二十二年三月二十九日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第八十三號

本年二月中西洋形船ハ左ノ通信號符字ヲ照附ス

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定 額	船主氏名
HGRV	一一一七 一一七	第三八號丸 Iwata Maru No. 8	帆	士佐國手結	船主後見人 船主氏名
HGRW	一一一八 一一八	興發丸 Koyai Maru	帆	渡島國函館	筑前善次郎
HGSB	一一一九 一一九	幸願丸 Kojun Maru	帆	同	蟬子和右衛門
HGSC	一一二〇 一二〇	曉得丸 Rinkaku Maru	汽	陸前國北上川	澁谷東兵衛

明治二十二年三月 告示 逓信省第八十號 第八十一號 第八十二號 第八十三號



○陸軍省告示第七號

自今愛知縣宮城縣ニ憲兵隊ヲ設置ス

明治二十二年三月三十日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○逓信省告示第八十四號

來ル四月三十日限リ加賀國石川郡吉野郵便局ニ於ケル郵便貯金事務取扱ヲ廢止ス

明治二十二年三月三十日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第八十五號

來ル五月一日ヨリ加賀國能美郡別宮郵便局ニ於テ同國石川郡吉野郵便局貯金事務ヲ繼續取扱ハレ

明治二十二年三月三十日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第八十六號

來ル四月十六日ヨリ釧路國多度郡多度津郵便局ヲ多度津郵便電信局トシ共事務ヲ取扱ハレ

明治二十二年三月三十日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○内務省告示第十一號

一新集林草紙 一册 淺草區黒船町十五番地樹山作吉發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年四月一日

内務大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十三號

明治二十年二月當省告示第十八號別册凡例第三項第四項ニ第二部歳入トアルハ二十二年度所屬ニ於テハ經常歳入中租稅外ノ歳入ニ該當スルモノトス

明治二十二年四月一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十四號

京都第百一十一國立銀行ノ儲明治二十二年四月一日ヲ以テ東京府麴町區麴町四丁目十五番地ニ支店ヲ設置ス

明治二十二年四月二日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第三十五號

名古屋第四十六國立銀行ノ儲二十二年四月一日ヲ以テ東京日本橋區伊勢町十番地ニ支店ヲ設置ス

明治二十二年四月二日

大藏大臣伯爵松方正義

○文部省告示第二號

今般第四高等中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ明治二十年十月文部省告示第十號高等中學校生徒定員中第四高等中學校ノ預醫科ノ次ニ附設藥學科六十八ノ八字ヲ加ヘ計六百六十八ヲ計七百二十八ト改ム



明治二十二年四月二日

文部大臣子爵榎本武揚

○大藏省告示第三十六號

客月當省告示第二十六號ヲ以テ七分利付金藏公債壹千萬圓償還スヘキ處同月二十八日抽籤執行ノ際抽籤タル籤札ノ數ニ違算有之其金額ニ壹萬圓ノ不足ヲ生シ抽籤額九百九拾九萬圓トナリタル旨日本銀行ヨリ申出ニ付今回ハ右壹萬圓ヲ減シ次回ニ於テ右金額ヲ差加ヘ抽籤執行スヘシ

大藏大臣伯爵松方正義

明治二十二年四月四日

○逓信省告示第八十七號

一小形船機關手取狀 明治二十二年四月二十六日發給  
右ハ大阪府平民増田島吉所有ノ處明治二十二年二月二十七日大阪府下ニ於テ遺失シ旨届出ニ依リ其所を見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス

逓信大臣伯爵藤森二郎

明治二十二年四月六日

○逓信省告示第八十八號

本月十六日ヨリ遼江國榛原郡金谷電信局ヲ三等トシ金谷郵便局ニ合併金谷郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

逓信大臣伯爵藤森二郎

明治二十二年四月六日

但シ當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

逓信大臣伯爵藤森二郎

○內務省告示第十二號

一 刑罰 大過錄 一册 大阪府區麻生町三丁目十四番屋敷山本太郎發行  
一 明治二十二年四月六日 一册 愛知縣名古屋區大府町七十四番戸高島文吉發行

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

內務大臣伯爵松方正義

明治二十二年四月八日

○內務省告示第十三號

一 耶蘇教退治 第四號 麻布區櫻田町七十二番地川崎道太郎發行  
右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

內務大臣伯爵松方正義

明治二十二年四月十三日

○大藏省告示第三十七號

石川縣下金澤國庫金出納所津幡出納支所ノ借本月十五日ヨリ河北郡津幡町ヘ移ス

大藏大臣伯爵松方正義

明治二十二年四月十三日

○逓信省告示第八十九號

本月十六日ヨリ機代國安達郡二本松電信局ヲ三等トシ二本松郵便局ニ合併二本松郵便電信局ト稱シ同日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

逓信大臣伯爵藤森二郎

明治二十二年四月十三日

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

逓信大臣伯爵藤森二郎

○大藏省告示第三十八號

東京國庫金出納所管内左記ノ出納支所本月三十日限り廢止シ其出納區域ハ同出納本所ニ屬ス

大藏大臣伯爵松方正義

明治二十二年四月十六日

齋町區出納支所 神田區出納支所 日本橋區出納支所

京橋區出納支所 芝區出納支所 麻布區出納支所



赤阪區出納支所 四ツ谷區出納支所 牛込區出納支所  
小石川區出納支所 本郷區出納支所 淺草區出納支所  
本所區出納支所 深川區出納支所 下谷區出納支所

○逓信省告示第九十號  
本年三月當省第五十五號告示青森縣陸奥國下北郡尻矢崎燈臺ノ燈明ハ去ル十二月ヨリ變換ス  
明治二十二年四月十八日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十一號  
今般青森縣陸奥國下北郡尻矢崎燈臺ニ設置セル霧笛機械ノ吹鳴時間ヲ改定シ自今三十秒時毎ニ四秒時間吹鳴ス  
該燈臺ニ於テ霧笛機械ニ毀損等アリテ吹鳴シ能ハサルトキハ霧鐘ヲ打鳴セシ處自今同上ノ節ニハ小形霧笛ヲ五分時ヲ隔テ每十分時ノ間一分時毎ニ一回ツ、吹鳴ス  
明治二十二年四月十八日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十二號  
越中國下新川郡入膳郵便局ニ於テ來ル五月十六日ヨリ郵便爲替事務ヲ開施ス  
明治二十二年四月十八日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第三十九號  
静岡國麻金出納所江尻出納支所ノ儘本月二十日限り廢止ス  
明治二十二年四月十九日 大藏大臣伯爵樺方正義

○逓信省告示第九十三號  
來五月一日ヨリ但馬國朝來郡生野同國出石郡出石丹波國船井郡岡部郡江國甲賀郡水口電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ其事務ヲ取扱ハシム  
但シ當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス  
明治二十二年四月十九日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

名	稱	名	稱
生野郵便電信局	出石郵便電信局		
岡部郵便電信局	水口郵便電信局		

○逓信省告示第九十四號  
來五月一日ヨリ土佐國幡多郡中村郵便局ヲ中村郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム  
但シ當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス  
明治二十二年四月十九日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十五號  
陸前國柴田郡大河原同國名取郡巖沼鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來五月一日ヨリ公衆ノ通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時間電報後ハ午前七時ヨリ午後七時マテトシ該驛内ニ宛タル電報ハ其取扱所ニ於テ直ニ配達ヲナス  
但歐文電報、歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報、萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報ハ發著トモ之ヲ取扱ハス  
明治二十二年四月二十日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十六號  
一汽船周陽丸検査證書 第六百拾貳號  
明治二十二年四月十六日登簿  
明治二十二年四月 告示 逓信省第九十四號 第九十五號 第九十六號



右ハ滋賀縣近江國高島郡今津村三百八十二番屋敷中島治右衛門受有ノ處本船大阪木津川碇泊中檢査證書紛失候旨届出ニ依リ其所存見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ヘシ但該證書ハ無効ニ屬ス

明治二十二年四月二十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第九十七號

第三種郵便物遞送認可願書ハ副本ヲ要セズ

明治二十二年四月二十四日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第九十八號

上野國碓氷郡横川鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來五月一日ヨリ公衆ノ通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時間電報依リ午前六時ヨリ午後六時マテトシ停車場ヨリ三町以内ノ地ニ宛タル電報ハ該取扱所ニ於テ直ニ配達ヲナス

但返信料前納電報、尋問電報、別使配達電報及ヒ萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報ハ獲著トモ之ヲ取扱ハス

明治二十二年四月二十四日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○大藏省告示第四十號

一紙幣貳百五十拾貳萬圓也

右ハ銀貨ト交換或消シ紙幣五拾錢以下損傷紙幣補助銀貨ト交換ノ分及紙幣ト交換セシ損傷紙幣等ノ合計ニシテ四月二十二日ヨリ同二十五日迄印刷局構内ニ於テ會計檢査院官吏立會燒棄セリ

明治二十二年四月二十七日

大藏大臣伯耆松方正義

○陸軍省告示第八號

明治二十二年陸軍教導團各兵科生徒入學檢査格例及志願者心得左ノ通り定ム

陸軍大臣伯耆大山 儀

明治二十二年四月二十七日

明治二十二年陸軍教導團各兵科生徒入學檢査格例

第一條 檢査ヲ分テ三則トス

第一則 年齢

第二則 體格

第三則 學科

第二條 第一則年齢ハ滿十八年以上二十五年以下タル可シ

但シ年齢ヲ算スルニハ本年十二月三十一日ヲ以テ期トス

第三條 第二則體格ハ騎砲輜重兵科身長五尺三寸以上歩工兵科ハ同五尺一寸以上ニシテ體質強壯ノ者

第四條 第三則ノ檢査ハ其科目ヲ分ツ左ノ如シ

其一 讀書 日本外史又ハ日本政記ノ類「通讀」

其二 作文 記事文ノ類「真片假名交リ」及通俗文

但作文ニテ作字ノ巧拙ヲ檢査ス

其三 數學 四則雜問分數雜問比例開平方開立

第五條 檢査ノ順序ハ第一第二則檢査合格ノ上第三則ニ及テ而シテ第二則ノ檢査ハ一科毎ニ若干ノ點數ヲ與ヘ其總點數ヲ比較シテ優劣ヲ定ム

第六條 第三則檢査科目中共一科ニ落第スル者ハ假令總點數ニ於テ優等ナリト雖トモ採用セズ

陸軍教導團各兵科生徒入學志願者心得

陸軍省告示第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號

明治二十二年四月 告示 陸軍省第八號



第一條 令般召募スル生徒ハ府縣ノ華士族平民中入學志願ノ者ヲ検査ノ上採用ス然レトモ左ニ記スルモノハ採用スルコトナシ

一 妻アル者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者

三 輕罪以上ノ刑ニ處セラレタル者及ヒ賭博犯ノ處分ヲ受ケシ者

四 前項ノ外平常素行修マラス同郷同町村ニ於テ排斥セラル、者

第二條 此生徒ハ志願兵トナシ入學ノ日ヨリ常備兵籍ニ編入シ陸軍一定ノ規則ヲ奉セシムルヲ以テ其入學ノ日決シテ他志ナク陸軍ニ從事スルノ誓約ヲナサシム故ニ入學ノ後ハ自己ノ情願ヲ以テ退學スルヲ許サス然レトモ病患等ニテ業務ニ堪ヘ難キモノハ軍醫ノ診斷ニ依リ之ヲ處分ス又學術不勉強品行不正若クハ成業ノ目的ナキ者ハ退學セシメテ本籍所管師團ヘ送附シ定期ノ兵役年限ヲ帶ハシム

生徒修業中ト雖トモ士官候補生志願ニシテ其資格ヲ有スル者召募ノ期ニ至リ定式ノ試験ヲ受ケ合格スルトキハ之ヲ許可ス

第三條 此生徒ハ下士ニ要用ナル學術ヲ教授スルヲ以テ修業期限步兵科ハ十八箇月騎兵輜重兵科ハ十八箇月砲工兵科ハ二十箇月而シテ修業中ハ一切障害休暇ヲ許サス但シ修學期限中疾病其他ノ事故ニ依テ豫定ノ學術ヲ修得シ能ハサル者ハ尙若干月ヲ延期スルコトアル可シ

第四條 生徒修業中ハ被服食料ハ官費學科用書籍材料ハ官給若クハ貸與スルモノトス且手當金若干ヲ給ス

第五條 生徒卒業ノ上ハ下士ニ任ス而シテ其服役期限ハ任官ノ日ヨリ滿十二年 現役四年 候補五年トス

第六條 志願者ハ第一號第二號第三號書式ニ照準シ願書履歷書戸籍明細書各副書ヲ要セスヲ本籍府(縣)廳(支庁)ニ提出スヘシ但第一號書式中希望兵科ヲ記載スルニ砲兵科希望ノ者ハ同兵科中ニ野戰砲兵要塞砲兵ノ二種アルヲ以テ之ヲ區別スヘシ

第七條 志願者ノ検査ハ未表ノ各地ニ検査官ヲ派出シテ之ヲ爲ス然レトモ志願者ノ多寡ニ依リ甲地志願者ヲ乙地ニ集メ検査スルコトアルヘシ若シ事故有テ未表ノ位置ヲ變換スルトキハ教導團ヨリ所管廳ニ通報スルモノトス其検査時日ハ派出検査官ヨリ豫メ所管廳ヘ通報スヘシ

第八條 志願者ハ必ス検査時日ニ後レサル様指示スル地ノ郡(區)役所或ハ戶長役場ニ届出指揮ヲ受クヘシ

第九條 検査時日ニ際シ志願者中病氣又ハ事故ニ依リ當日出場ヲ缺ク者アルモ之カ爲メ時日ヲ遷延シ更ニ検査場ヲ開クコトナシ尤次ノ検査場ニ至リ更ニ検査ヲ乞フ者ハ之ヲ許可ス

第十條 受檢者検査場ニ臨ムトキハ硯紙ニ筆墨ノ外ハ總テ書籍草案等ヲ携持スルヲ許サス試驗科目ハ既ニ格例ニ明文アルヲ以テ問題ニ對シ些少ノ應答モ爲ス能ハサル者ハ志願スルコトヲ得ス

第十一條 志願者検査合格ノ上ハ教導團ニ於テ検査書類ニ就キ全國合格者ノ優劣ヲ比較シ採用列序ヲ定メ優等ノ者ヨリ順次所要ノ人員ヲ採用ス故ニ合格者ト雖モ過剩スルトキハ或ハ採用スルコトナシ



第十二條 志願者検査合格ニシテ採用スヘキモノハ管轄廳ヲ經テ本人ニ達シ出願セシメ再ヒ身體ノ検査ヲ行ヒ入學セシムル者トス總テ出願途中病氣其他止ムヲ得サル事故アリテ定期日限ニ到著シ難キモノハ郵便或ハ電報ヲ以テ教導團ニ届出テ置キ病氣ハ醫師ノ診斷書其他ハ郡(區)長若クハ船長ノ事由書ヲ以テ到着ノ上直ニ届出ヘシ但夫レカ爲メ多數ノ日數ヲ費シ入願終了ニ著キ滯滞ヲ來ス者ハ除名スヘシ

第十三條 從來志願者中出願ノ違フ受ケ期日ニ後レ到着スル者往々之レアリ爲メニ學術授業上ニ障礙ヲ來スノミナラス本人ニ於テモ先入者ニ比スレハ相應ノ時日ヲ以テ教育ヲ受クル能ハサルノ不幸モ少ナカラス故ニ志願者ニシテ出願ノ違フ受ケル者ハ必ス指定日限ニ過著セサル様厚ク心得ヘシ

第十四條 採用ヲ遲延シ又ハ無届ニテ期日ニ到着セズ或ハ自己ノ不注意ヨリシテ期日ニ後レタル者ハ採用セサルノミナラス義ニ支給セシ出願旅費ヲ返納セシムヘシ

第十五條 志願者受検査ノ後テ其住地ヲ轉スルトキハ速カニ管轄廳ヲ經テ教導團ニ届出ツヘシ但本籍外ニ寄留シ或ハ寄留者ニシテ本籍ニ歸リタル等ハ其新住地ノ管轄廳ニ教導團生徒志願ニシテ検査ヲ受ケタル旨ヲ豫テ届出テ置クヘシ

第十六條 出願ヲ命ゼシ者ニハ旅費トシテ一日十里請金四十錢(十里以上ノ端里數ハ一里以上六里三厘以上六厘未満ハ半額六厘以上十厘未満ハ全額)ヲ支給ス其法教導團ヨリ本人ノ管轄廳ヲ經テ之ヲ支給ス又第十四條ノ如ク受検査後住地ヲ轉スルモノハ旅費ハ其遠近ヲ問ハス都テ舊住地ヨリノ里程ニ依リ支給ス

採用者出願ノ上支給スヘキ理由アル者ニハ滞在日當トシテ一日金貳拾八錢ヲ支給ス但自己ノ便宜ヲ以テ出願期日前早著シ滞在スルカ如キハ之ヲ支給スルノ限リニアラス

第十七條 出願ノ上再ヒ身體ノ検査ヲナシ不合格トナリタル者ハ歸郷セシメ其趣ヲ管轄廳ニ通報スヘシ若シ自己ノ不衛生等ヨリ發病スルモノト認ムルトキハ歸郷旅費ヲ給セサルノミナラス出願ノ旅費ヲモ返納セシムヘシ

第十八條 追願者検査ノ手續等陸軍教導團條例第三章第二條但書ノ通ト雖モ検査日數ニ限リアルヲ以テ検査官巡迴ノ都合ニ依リ時トシテハ追願者ヲ採用セサルコトアルヘシ

第一號書式  
教導團入學願用紙表讀自紙

某 備

陸軍出身志願ニテ此處教導團生徒入學在途候間検査ノ上採用被下度入學ノ上ハ同ヨリ御規則嚴重ニ相守リ得テ陸軍ニ從事可仕候一行狀不正又ハ卒業ノ目的無之ヨリ退學ヲ命ゼラレ候共決シテ退學不仕御定期ノ服役年限ヲ相終リ可申且又本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラス身元保證人ニ於テ引受可仕候ヲ願誓相擔保人連署此段奉願候也

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地住  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地全戶(取身)寄留  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地住  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地全戶寄留

身元保證人  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地住  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地全戶寄留  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地住  
何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地全戶寄留

年 號 月 日  
姓 名 印  
姓 名 印  
姓 名 印



陸軍教導團長 官姓名殿

右之通願書候ニ付取調候處相違無之候也

前書之通相違無之候也

何府(縣)何郡(區)何町(村)月長(月長ナキ地ハ區長)

姓 名 印

何府(縣)知事 姓 名 印

第二號書式

履歷書 用紙願書用紙ニ同シ而シテ書式ニ示ス外

何府(縣)何族(平民)職名

月主ニ非サレハ誰子弟等

姓 名

- 一 何年月日種痘(天然痘)
- 一 身代限リノ處分ヲ受ケテコトナシ(身代限ノ處分ヲ受ケテシモ負擔ノ難儀ハ既ニ終ラズ)
- 一 體刑以上ノ刑ニ處セラレタルコト及刑罰ノ處分ヲ受ケテコトナシ
- 一 何年月日何官(如何等)出仕(免本官)出仕被免(如何)府(縣)
- 一 何年月日何職被申付(何職被免)何府(縣)
- 一 何年月日ヨリ何年月日迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)
- 一 何年月日ヨリ何年月日迄何學研究(附屬)ノ爲メ何處留學(留置)
- 一 何年月日徵兵(士官候補生幼年學校士官學校或教導團生徒)ノ檢査ヲ受ケ價格(身代限附屬)學科ニ合セス
- 一 何年月日何々ニ依テ賞與何々下賜
- 一 何年月日何々ノ科ニ依テ何箇申付ヲル

右之通相違無之候也

本人 姓 名 印

第三號書式

戸籍明細書用紙願書ニ同シ

親父 某 名 何年月日生(亡)現在ナレハ生年月日

祖母 何ノ誰何女 某 名 同上

養祖父 某 名 同上養子ハ實家ノ祖父母ヲ記載スル

養祖母 何ノ誰何女 某 名 同上

實父 某 名 同上

實母 何ノ誰何女 某 名 同上

養父 某 名 同上

養母 何ノ誰何女 某 名 同上

兄弟ハ義兄 某 名 同上 以下同戸籍申現存スル者ニ限ル

弟或ハ義弟 某 名 同上

姉或ハ義姉 某 名 同上

妹或ハ義妹 某 名 同上

右之通ニ候也

年 號 月 日

身元保証人 姓 名 印

本人 姓 名 印

身元保証人 姓 名 印

姓 名 印



教導團生徒志願者検査場位置 明治二十二年

班名	第一班		第二班					班名	第三班					第四班									
	秋田	青森	盛岡	宮城	茨城	山形	新潟		群馬	埼玉	千葉	山梨	石川	福井	滋賀	和歌山	大分	宮崎	鹿兒島	長崎			
検査場	三	二	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	
地名	横手	大館	八幡	北谷	吉田	川口	小宮	須賀	中野	福井	若狭	米原	新田	高松	高松	高松	高松	高松	高松	高松	高松	高松	高松

○陸軍省告示第九號

今般陸軍教導團各兵科生徒召募候補同團條例第三章第二條及第三條揭示ノ通取計本年ニ限リ各府縣毎ニ別紙離形ノ通志願者進名簿ヲ製シ來ル八月十日迄ニ教導團ヘ送附スヘシ

但入學願書ハ各府縣毎ニ取纏メ檢査官到著ノ上該官ニ交附スヘシ

明治二十二年四月二十七日

陸軍大臣伯耆大山 熈

(△印ハ朱書)

班名	第五班					第六班					第七班				
	岡山	廣島	香川	愛媛	高知	徳島	高知	香川	愛媛	高知	徳島	高知	香川	愛媛	高知
検査場	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	一	二	三	四	五
地名	岡山	廣島	香川	愛媛	高知	徳島	高知	香川	愛媛	高知	徳島	高知	香川	愛媛	高知

何府縣教導團生徒志願者進名簿

班	検査場	班名	兵科	町村名	族	姓	年	姓名
第一	三	秋田	步兵	横手	田	何	二十	茶







相模國足柄下郡小田原郵便局  
 甲斐國西山梨郡甲府郵便局  
 越前國敦賀郡滋賀郵便局  
 上野國西群馬郡高崎郵便局  
 下野國下都賀郡小山郵便局  
 下野國那須郡藤野郵便局  
 下野國那須郡黒羽郵便局  
 下野國足利郡足利郵便局  
 大和國添下郡郡山郵便局  
 和泉國堺郵便局  
 但馬國城崎郡豐岡郵便局  
 三河國渥美郡豐橋郵便局  
 尾張國愛知郡熱田郵便局  
 伊勢國度會郡山田郵便局  
 飛騨國大野郡高山郵便局  
 陸奥國鹿兒島郡鹿兒島郵便局  
 阿波國名東郡徳島郵便局  
 讃岐國那珂郡丸龜郵便局  
 伊豫國温泉郡松山郵便局  
 筑前國博多郵便局

相模國三浦郡横須賀郵便局  
 駿河國有渡郡静岡郵便局  
 上野國山田郡桐生郵便局  
 下野國下都賀郡栃木郵便局  
 下野國鹽谷郡喜連川郵便局  
 下野國芳賀郡真岡郵便局  
 下野國上都賀郡鹿沼郵便局  
 山城國紀伊郡伏見郵便局  
 大和國添上郡奈良郵便局  
 近江國滋賀郡大津郵便局  
 播磨國飾東郡姫路郵便局  
 三河國額田郡岡崎郵便局  
 伊勢國桑名郡桑名郵便局  
 美濃國安八郡大垣郵便局  
 肥後國八代郡八代郵便局  
 琉球國那覇郵便局  
 薩摩國香川郡高松郵便局  
 伊豫國北宇和郡宇和島郵便局  
 周防國吉敷郡山口郵便局  
 豊前國金毘羅郡小倉郵便局

豊前國下毛郡中津郵便局  
 肥前國佐賀郡佐賀郵便局  
 備中國小田郡笠岡郵便局  
 備後國御調郡尾道郵便局  
 安藝國廣島郵便局  
 出雲國意宇郡松江郵便局  
 越前國足羽郡福井郵便局  
 越中國射水郡高岡郵便局  
 信濃國東筑摩郡松本郵便局  
 越後國東蒲原郡津川郵便局  
 越後國北蒲原郡新發田郵便局  
 羽前國南置賜郡米澤郵便局  
 羽後國飽海郡酒田郵便局  
 磐城國西白河郡白河郵便局  
 磐城國宇都郡中村郵便局  
 陸前國志田郡古川郵便局  
 陸前國登米郡登米郵便局  
 後志國小樽郡小樽郵便局  
 石狩國空知郡市來知郵便局  
 巖代國北會津郡若松郵便局

豊後國大分郡大分郵便局  
 美作國西北條郡津山郵便局  
 備中國淺口郡玉島郵便局  
 備後國深津郡福山郵便局  
 因幡國邑美郡鳥取郵便局  
 石見國那賀郡出雲郵便局  
 加賀國金澤郵便局  
 信濃國小縣郡上田郵便局  
 信濃國上水内郡長野郵便局  
 越後國古志郡長岡郵便局  
 佐渡國雄勝郡相川郵便局  
 羽前國西田川郡鶴岡郵便局  
 陸中國南後手郡盛岡郵便局  
 磐城國磐前郡平野郵便局  
 磐城國田村郡三春郵便局  
 陸前國牡鹿郡石巻郵便局  
 陸前國仙臺郵便局  
 石狩國樺戸郡月形郵便局  
 巖代國盛岡郡須賀川郵便局  
 巖代國安積郡郡山郵便局







○遞信省告示第百四號

來五月一日ヨリ信濃國埴科郡松代同國西筑摩郡福島及同國更科郡稻荷山電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ其事務ヲ取扱ハシム  
但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年四月三十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

名 稱 名 稱 名 稱  
松代郵便電信局 福島郵便電信局 稻荷山郵便電信局

○海軍省告示第五號

本年四月勅令第五十六號海軍下士服役條例公布ニ依リ従前ノ退職下士ハ免官ト心得自今元海軍某官ト稱スヘシ

明治二十二年五月一日

海軍大臣伯爵西郷從道

○遞信省告示第百五號

巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第一項ハ左ノ通修正ス

明治二十二年五月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

第一「ハリゴランド」島ハ郵便事務上ニ付テハ日耳曼ノ一部ト看做シ「アピア」(サモア島)上海(支那)及「ラムー」(サンシバル帝國)ニ設置ノ日耳曼郵便局ハ同國ノ郵政廳ニ屬スルモノトス

○遞信省告示第百六號

國館商船學校規則第四章第十七條但書左ノ通修正ス

明治二十二年五月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

但遠隔ノ地ニアル者ハ必ラス國館區内ニ一名ノ代理者ヲ置クヘシ

○陸軍省告示第十號

維新前殉難者舊水戸藩士安島帶刀以下千三百九十名舊水戸藩松平大炊頭以下六十三名舊松川藩士中村修之助以下七名左記ノ人名今般增國神社へ合祀被仰出候ニ付本月五日同社ニ於テ招魂式翌六日例大祭ノ際併セテ祭典執行同社へ合祀セラル

明治二十二年五月二日

陸軍大臣伯爵大山 巖



















菅原 貞發	小堀 政則	箕輪 利隆	横田 藤四郎	中村 修之助	會田 銀太郎
小川 正春	木村 正彬	栗原 藤吉	横田 信近	太田 新太郎	高橋 登三郎
菊池 景造	師川 鏡久	中島 金次	沼田 金次郎	所谷 英司	林 三郎
藤月 憲忠	市川 久行	島田 藤兵衛	松川 裕	高橋 金三郎	

○遞信省告示第七號  
 鐵道國多度津郵便電信局ニ電信爲替ヲ開キ來ル六月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
 明治二十二年五月三日  
 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○陸軍省告示第十一號

明治二十二年要塞砲兵幹部練習所生徒入學檢査格例及志願者心得取扱手續左ノ通定ム  
 明治二十二年五月四日  
 陸軍大臣伯爵大山 巖

- 第一條 檢査ヲ分テ三則トス
- 第一則 年齢
- 第二則 體格
- 第三則 學科
- 第二條 年齢ハ自十九年至二十三年而シテ之ヲ算スルニハ本年十一月ヲ以テ期トス
- 第三條 體格ハ身長五尺三寸以上ニシテ體質強壯ナル者
- 第四條 學科目ヲ分ツ左ノ如シ
  - 其一 讀群 日本外史又ハ日本政記ノ類(通讀)
  - 其二 作文 記事文(眞片假名及通俗文) 但作文ニテ作字ノ巧拙ヲ檢査ス

共三 數學 四則雜問分數雜問比例開平開立

第五條 檢査ノ順序ハ第一第二則檢査合格ノ上第三則ニ及フ而シテ第三則ノ檢査ハ一科毎ニ若干ノ數數ヲ與ヘ其總數ヲ比較シテ優劣ヲ定ム

第六條 第三則中共一科ニ落第スル者ハ假令總數ニ於テ優等ナリト雖トモ採用セズ

明治二十二年要塞砲兵幹部練習所生徒入學志願者心得取扱手續

- 第一條 召募スヘキ生徒ノ檢査ハ陸軍教導團生徒召募檢査官ニ於テ之ヲ行フ
- 第二條 左ニ記スル者ハ志願者タルノ資格ヲ有セス
  - 一 妻アル者
  - 二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者
  - 三 輕罪以上ノ刑ニ處セラレタル者及ヒ賭博犯ノ處分ヲ受ケシ者
  - 四 前項ノ外平常素行修マラス同郷ニ於テ擯斥セラレタル者
- 第三條 生徒ハ入學ノ日ヨリ陸軍一定ノ規則ニ服セシム故ニ入學ノ上ハ必ズ陸軍ニ從事シ決シテ他志ナキノ誓約ヲ爲サシムルコト左ノ如シ

誓文

全體陸軍出身志願ニ付要塞砲兵幹部練習所生徒奉願候御許相成候ニ付テハ自今御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ從事可仕且御定規ノ服役期間ハ假令病氣ト雖トモ軍醫ノ診斷ニ依ラズシテ免役ヲ請願致候等ノ儀毛頭任開取候依テ誓文如件

姓 名 印

第四條 入學ノ後ハ自己ノ情願ヲ以テ退學スルヲ許サハルノミナラス修業中ハ一切歸省休暇ヲ許サス然トモ病患若クハ傷痍ニテ兵役ニ堪ヘ難キモノハ軍醫ノ診斷ニ依リ之ヲ處分ス

第五條 生徒修業期限中疾病其他ノ事故ニ依テ預定ノ學術ヲ修得シ能ハサル者ハ尙ホ若干月ヲ延



期スルコトアル可シ

第六條 生徒修業中ハ被服食料ハ官費トシ學科用書籍材料ハ官給若クハ貸與スルモノトス且手當金若干ヲ給ス

第七條 生徒志願者ハ第一號第二號書式ニ照準シ願書履歷書(各副書ヲ要セス)ヲ本籍府(縣)廳(寄留ノ者ハ其ノ地ノ府縣廳)ハ差出スヘシ而シテ父兄親族等必ス一家ノ戶主ニシテ身元體ナル者一名ヲ以テ身元保證人トナシ書式ノ如ク連署スヘシ

府縣廳ニ於テハ陸軍教導團條例第三章第二條及第三條ニ準テ取計本年陸軍省告示第九號ノ通達名簿ヲ製シ來ル八月十日迄ニ要塞砲兵隊部練習所ニ送附スヘシ但シ入學願書ハ各府縣毎ニ取纏メ置キ検査官到着ノ上該官ニ交附スヘシ

第八條 志願者ノ検査ハ陸軍教導團生徒志願者検査場位置表ノ各地ニ於テ之ヲ行フ然トモ志願者ノ多寡ニ依リ甲地志願者ヲ乙地ニ集メ検査スルコトアルヘシ若シ求故有テ該表ノ位置ヲ變換スルトキハ陸軍教導團ヨリ所管廳ニ通報ス又其検査時日ハ派出検査官ヨリ預メ所管廳ニ通報スヘシ

第九條 志願者ハ必ス検査時日ニ後レサル模範示スル地ノ郡(市)役所或ハ町(村)長役場ニ届出指揮ヲ受ケヘシ検査時日ニ際シ志願者中疾病又ハ事故ニ依リ當日出場ヲ缺ク者アルモ之カ爲メ時日ヲ遷延シ更ニ検査場ヲ閉クコトナシ然トモ次ノ検査場ニ至リ更ニ検査ヲ請フ者ハ之ヲ許可ス但本文次ノ検査場ニ至リ更ニ検査ヲ請フ者多數ニシテ爲メニ木文検査時日ヲ遷延セサル可クサル場合ニ於テハ之ヲ許可セス

第十條 受檢者検査場ニ臨ムトキハ笠履視及小刀ノ外總テ書籍草案等ヲ携持スルヲ許サス

第十一條 志願者検査合格ノ上ハ練習所ニ於テ検査書類ニ就キ全國合格者ノ優劣ヲ比較シ採用列

序ヲ定メ優等ノ者ヨリ順次所要ノ人員ヲ採用ス

第十二條 検査合格ニシテ採用スヘキ者ハ練習所長ヨリ管轄廳ヲ經テ本人ニ達シ出所セシメ再ヒ身體ノ検査ヲ行ヒ入學セシムルモノトス總テ出所途中病氣其他止ムヲ得サル事故アリテ定期日限ニ到着シ難キ者ハ郵便若クハ電報ヲ以テ練習所ニ届出テ置キ病氣ハ醫師ノ診斷書其他ハ其地ノ郡(市)町(村)長若クハ船長ノ事由書ヲ以テ到着ノ上直ニ届出ヘシ但夫レカ爲メ多數ノ日子ヲ費シ入學結了ニ著キ滯滞ヲ來ス者ハ除名スヘシ

第十三條 出所ノ達ヲ受ケタル者親リニ出發ヲ遷延シ又ハ無届ニテ期日ニ到着セス或ハ自己ノ不注意ヨリシテ期日ニ後レタル者ハ採用セサルノミナラス幾ニ支給セシ出所旅費ヲ返納セシム

第十四條 志願者ニシテ検査ヲ受ケタル後テ其住地ヲ轉スルトキハ速カニ新住地ノ管轄廳ヲ經テ練習所ニ届出ヘシ

第十五條 出所ヲ命ゼシ者ニハ旅費トシテ一日十里請金四拾錢十以上ノ端里數ハ一里以上六里三以上六里未満ハ半額六里以上十里ヲ木人ノ管轄廳ヲ經テ支給ス又第十四條ノ如ク受檢後住地ヲ轉スル者ノ旅費ハ其遊近ヲ問ハス都テ舊住地ヨリノ里程ニ依リテ支給ス

出所ヲ命ゼタル者ニハ到着翌日ヨリ入學前日マテ滞在日當トシテ一日金貳拾八錢ヲ支給ス但自己ノ便宜ヲ以テ出所期日前早著シ滞在スルカ如キハ之ヲ支給スルノ限リニアラス

第十六條 出所ノ上再ヒ身體ノ検査ヲ爲シ不合格トナリタル者ハ歸郷セシメ其趣ヲ練習所ヨリ管轄廳ニ通報ス若シ自己ノ不攝生等ヨリ痲病スルモノト認ムルトキハ歸郷旅費ヲ給セサルノミナラス出所ノ旅費ヲモ返納セシムルモノトス

第十七條 府縣廳ヨリ連名簿ヲ練習所ヘ送附シタル後尙ホ志願者アリテ願書等ヲ府縣廳ヘ差出シタルトキハ検査官派出ノ時直チニ該廳ヨリ該官ニ申出テ検査ヲ受ケシムルコトアリト雖トモ巡



同日割ノ都合ニヨリテハ此検査ヲ許サ、ルコトアルヘシ

第一號書式

要塞砲兵幹部練習所入學願用紙表紙自紙

陸軍出身志願ニ付要塞砲兵幹部練習所生徒入學仕度檢問御検査ノ上御採用被下度入學ノ上ハ固ヨリ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ従事可任又本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラズ身元保證人ニ於テ引受可任依テ願書表紙三戸詳細書拍添付證人連署此段奉願候也

何府(縣)何國何郡(市)何町(村)何番地住  
何府(縣)何國何郡(市)何町(村)何番地全戸(置身)寄留

何府(縣)何族(平民)職業  
其長次男(兄)(弟)(月主)

姓 名 印

年 月 日 生  
明治二十二年十一月何年何箇月

身元保證人

何府(縣)何族(平民)  
何府(縣)何國何郡(市)何町(村)何番地住  
何府(縣)何國何郡(市)何町(村)何番地全戸寄留

月主

姓 名 印

同上

月主

姓 名 印

年 月 日

要塞砲兵幹部練習所長 官姓名殿

右之通願書儀ニ付重罰候御相違無之儀也

前書之通相違無之儀也

第二號書式

履歷書 願用紙 願用紙ニ同シ而シテ書式ニ示ス外

- 一 何年何月何種痘(突發痘)
- 一 身代限リノ處分ヲ受ケシコトナシ(身代限ノ處分ヲ受ケシモ其後ノ續限ハ既ニ完了ス)
- 一 一刑以上ノ刑ニ處セラレタルコト及賭博犯ノ處分ヲ受ケシコトナシ

- 一 何年何月何官(補何等出仕)(免本官)(出仕被免)(何府)(何(縣))
- 一 何年何月何職被申付(何職被免)(何府)(何(縣))
- 一 何年何月何日何年何月何迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)
- 一 何年何月何日何年何月何迄何學研究(商業)ノ爲メ何處留學(留留)
- 一 何年何月何職兵(士官候補生幼年學校士官學校政教等團生徒)(海軍兵學校ノ檢査ヲ受ケケ爾格(身障胸胸傷)學科ニ合セス)
- 一 何年何月何々ニ於テ賞典何々下賜
- 一 何年何月何々ノ科ニ依リテ何罰申付ラレ

右之通相違無之儀也

年 月 日

本人 姓 名 印

身元保證人

姓 名 印

何府(縣)何郡(市)何町(村)長

姓 名 印

何府(縣)知事 姓 名 印

何府(縣)何族(平民)  
其長次男(兄)(弟)(月主)

姓 名







○遞信省告示第百十三號

信濃國北安曇郡千國郵便局ヲ來ル六月一日ヨリ同國同郡南小谷村大字千國字雨中ニ移シ雨中郵便局ト改稱ス

明治二十二年五月十一日

遞信大臣伯耆後藤藤三郎

○遞信省告示第百十四號

來六月一日ヨリ上野國山田郡桐生電信局ヲ三等トシ桐生郵便局ニ合併桐生郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但シ當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年五月十三日

遞信大臣伯耆後藤藤三郎

○遞信省告示第百十五號

伊豆國田方郡韮山郵便局ヲ來ル六月一日同國同郡韮山町字四日町ニ移轉ス

明治二十二年五月十三日

遞信大臣伯耆後藤藤三郎

○遞信省告示第百十六號

山城國紀伊郡伏見御駕籠町郵便貯金預所ヲ本月十六日ヨリ同郡伏見京町二丁目ニ移シ伏見京町二丁目郵便貯金預所ト改稱ス

明治二十二年五月十三日

遞信大臣伯耆後藤藤三郎

○遞信省告示第百十七號

來六月一日ヨリ肥後國宇土郡三角電信局ヲ三等トシ三角浦郵便局ニ合併三角郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但シ當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年五月十四日

遞信大臣伯耆後藤藤三郎

○大藏省告示第百四十二號

二十年度備荒儲蓄金收支精算報告別冊ノ通

明治二十二年五月十六日

大藏大臣伯耆松方正義

(別冊)

第八回備荒儲蓄金收支精算報告

明治十三年第三十二號布告備荒儲蓄法第十條ニ據リ明治二十年度即チ明治二十年四月一日ヨリ同二十一年三月三十一日ニ至ル一週年度中央及府縣儲蓄金ノ出納ヲ告示スルニ方リ茲ニ其要領ヲ提記ス

中央儲蓄金

一中央儲蓄金前年度越前高千穂三萬六千九百八拾八圓九錢八厘(現金預ケ金及米穀原本年度ニ於テ收入セシハ中央儲蓄金三拾萬圓預ケ金利息等ニ於テ拾壹萬七千四百八拾八圓九錢合計四拾壹萬七千四百八拾八圓九錢)ナリ此内支出セシ金額ハ鹿兒島縣救荒補助ニ於テ四萬九千三百拾六圓六拾錢六厘米穀買掛損等ニ於テ壹萬貳千五百六圓貳拾錢貳厘ヲ扣除スレハ殘額即未尾ノ有高ハ三百四拾壹萬七千六百五拾三圓八錢ナリ而シテ之レカ類別ヲ舉レハ現金四千九拾圓四拾五錢米穀原價拾三萬九千四百四拾六圓五拾貳錢壹厘此石貳萬五千五百貳拾石六斗壹升八合預ケ金三百貳拾五萬八千八百五拾壹圓七拾六錢六厘米穀買上代價出費方四千六百三拾貳圓八拾八錢五厘各所豫備金六百三拾壹圓四拾五錢八厘ニシテ即チ第一號表ノ如シ

府縣儲蓄金

一府縣儲蓄金前年度越前高千穂三萬三千貳百貳拾壹圓三錢三厘(現金及公債儲蓄原價米穀原本年度ニ於テ收入セシ)モノ貳百七拾四萬七千七拾六圓四拾七錢貳厘此内全ク支出セシ金額五拾八萬貳千九



百五拾九圓拾六錢壹厘ヲ扣除スレハ本期末尾ノ在萬千貳百四拾九萬三千三百三拾八圓三拾四錢四厘ナリ即チ第二號表ノ如シ但前年度越前高ニ於テ地租貸與金ヲ併算セシハ二十年十二月

一 本年度歲首ノ金額千三百三拾三萬三千貳百貳拾壹圓三錢三厘之ヲ前年度歲首ノ金額七百八拾三萬九千三百五拾圓三拾九錢六厘ニ比スレハ貳百四拾九萬三千八百七拾圓六拾三錢七厘ノ增加ナリ此ノ如ク多額ノ增加アルハ二十年十二月大藏省令第十五號備荒儲蓄金取扱順序改定ニ由リ從來地租貸與金ハ支拂切ノ計算ナリシヨ儲蓄金基本ニ組入レタルニ因リ地租貸與金五拾八萬六千四百四圓三拾六錢五厘ヲ前年度歲首九百七拾四萬六千八百六拾六圓六拾八錢八厘ニ併算シタルニ因ル

又本期末收入高貳百七拾四萬七千九百九拾六圓四拾七錢貳厘之ヲ前年度貳百五拾六萬七千九百九拾八圓八錢ニ比スレハ拾七萬九千九百九拾六圓八拾八錢四厘ノ増額ナリ而シテ之カ類別ヲ掲クレハ公儲金ニ於テ六千貳百六拾五圓貳拾壹錢六厘益金前年度公儲金積立額ニ於テ拾九萬貳千貳百貳拾三圓七錢六厘ニ對シスレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費前年度救助費補助ノ對照スレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費ニ於テ救助費ノ中ニアリシ避難所諸費及ヒ雜費ノ日々積入スニ於テ貳拾六萬四千八百九拾貳圓

又本期末支出高五拾八萬貳千九百五拾九圓拾六錢壹厘之ヲ前年度支出高六拾五萬三千六百四拾四圓三拾壹錢六厘ニ對シスレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費前年度救助費補助ノ對照スレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費ニ於テ救助費ノ中ニアリシ避難所諸費及ヒ雜費ノ日々積入スニ於テ貳拾六萬四千八百九拾貳圓

七拾五錢七厘ナリ此種額ハ食料小屋掛料農具料種肥料地租補助ニ於テ前年度ニ對シテ支給額ノ少ナカリント地租貸與金貳萬三千七百拾四圓三拾貳錢六厘ハ之ヲ省キタリントニ因ル又儲蓄費前年度儲蓄費補助ノ對照スレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費前年度救助費補助ノ對照スレハ七千六百八拾五圓拾五錢五厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費ニ於テ救助費ノ中ニアリシ避難所諸費及ヒ雜費ノ日々積入スニ於テ貳拾六萬四千八百九拾貳圓

於テ壹萬六千八百八拾四圓貳拾六錢五厘ノ減額ハ前年度諸費ノ目ヲ以テ對照セシニ因ル然レトモ倉庫費前年度倉庫費補助ノ對照スレハ七千六百八拾八圓八錢八厘ヲ增加セシハ前年度ニ於テ諸費ニ編入セシ避難所諸費及ヒ雜費ノ日々積入スニ因ル缺損金前年度損金ニ於テ五萬貳千五百拾貳圓七拾壹錢壹厘ノ增加セシハ公債證書賣却損米穀賣却損米穀缺減等ノ前年度ニ比シテ多カリント又地租貸與金前年度ニ於テ支出ニ立テサリシカ本年度ニ於テ缺損金ニ編入シタルニ因ル過額納下戻ニ於テ五百四拾六圓五拾九錢七厘ノ增加セシハ前年度ニ於テ過額納下戻ハ諸費ニ編入シタルニ因ル分割拂拾四萬三千六百三圓八拾八錢壹厘ノ增加セシハ前年度ニ於テ新築設置等ノナキニ因ル即チ差引前記ノ減額ニ至レリ

又本期末額合計千貳百四拾九萬三千三百三拾八圓三拾四錢四厘之ヲ前年度總額合計九百七拾四萬六千八百六拾六圓六拾八錢八厘ニ對シスレハ貳百七拾四萬四千五百貳拾壹圓六拾七錢六厘ノ增加ナリ而シテ之レカ類別ヲ掲クレハ公債證書原價ニ於テ貳百五拾三萬九千九拾圓三拾七錢貳厘地租貸與ニ於テ四拾七萬九千七拾七圓九拾八錢三厘ナリ然レトモ現金ニ於テ八萬六千九百九拾九圓四錢米穀原價ニ於テ拾七萬七千七百四拾七圓六拾三錢九厘ヲ減少シタルニ由リ差引前記ノ增加ニ至レリ即チ第三號表ノ如シ

一 現金前年度越前高ハ百四拾五萬四千九百八拾貳圓七拾五錢七厘ニシテ本年度ニ於テ收入セシハ公儲金ニ於テ九拾壹萬四千五百五拾六圓六拾五錢三厘配付金ニ於テ九拾萬圓其他地租貸與返納公儲金缺額補充公債證書賣却代米穀賣却代及益金雜收寄附金分割受ニ於テ貳百貳拾三萬



五千貳百五拾三圓貳拾九錢七厘合計五百五拾萬四千三百九拾貳圓七拾錢七厘ナリ即チ第四號表ノ如シ

一木期ニ於テ支出ニ係ル金額ヲ類別スレハ救助費ニ於テ三拾萬九千九百六拾四圓貳拾八錢壹厘地租貸與儲蓄費倉庫費米穀買入代公債證書買入代供損金過誤納下戻分拂拂ニ於テ三百八拾三萬四千四百四拾四圓七拾錢九厘合計四百拾三萬六千四百八拾九圓九拾九錢ナリ之ヲ前項收入高五百五拾萬四千三百九拾貳圓七拾錢七厘ヨリ扣除スルトキハ木期末尾ノ現金在高八百三拾六萬七千九百八拾三圓七拾壹錢七厘ニシテ即チ第五號表ノ如シ

一昭災ノ爲メ賑給シタル金額内課及被害ノ種別ハ第六號表及第七號表ノ如シ

一公債證書前年度越前高ハ額面八百貳拾九萬九千八百七拾五圓此原價七百四拾七萬九千八百八拾三圓壹錢三厘木期ニ於テ購入シタルモノ額面三百六拾萬七千八百六拾五圓代價三百六拾四萬五千三拾五圓六錢八厘當該益賣却益拾六萬四千四百五拾四圓貳拾貳錢九厘交換受額面四拾九萬貳百五拾圓原價四拾三萬三千八百三拾八圓貳拾貳錢貳厘分割受額面七萬六千六百圓原價七萬五千八百五拾八圓貳拾四錢貳厘此内賣却セシモノ額面八萬八千八百拾五圓實價九萬九千八百拾九圓八拾五錢三厘當該額面百拾八萬貳百七拾貳圓實價百拾八萬貳百七拾貳圓當該損賣却損等ニ於テ四千貳百七拾七圓七錢貳厘交換拂額面四拾九萬貳百五拾圓原價四拾三萬三千八百三拾八圓貳拾貳錢貳厘ナリ即チ第八號表ノ如シ

一六千四百圓原價七萬五千八百五拾八圓貳拾四錢貳厘ヲ扣除スレハ木期末尾ノ在高額面千五百拾四萬九千三百五拾三圓原價千貳百七拾三圓三拾八錢五厘ナリ即チ第八號表ノ如シ

一米穀前年度越前高ハ貳拾貳萬七千六百六拾九石貳斗九升三合此原價八拾壹萬九千八百五拾圓八拾九錢八厘木期ニ於テ購入シタル石高貳萬八千六百六拾六石三斗九升原價八萬八千九百九拾圓九厘賣却益量出益ニ於テ石高拾五石壹斗四升九合實價貳千三百八拾九圓九拾貳錢六厘交換受石高壹萬八千六百六拾六石五斗七升八合原價六萬三千九百九拾九圓八拾四錢六厘分割受石高三千七百三拾九石貳斗

壹合原價壹萬三千六百三拾九圓四拾四錢七厘此内賣却セシ石高五萬六千五百五拾壹石貳斗壹合實價拾六萬九千九百八拾五圓三拾九錢五厘缺減石高四千八百七拾三斗六升八合原價壹萬九千九百拾三圓五拾九錢救助石高貳百五拾五升貳合原價六百貳拾六圓九拾壹錢五厘賣却損賣却損雜損石高三千六百拾八石四斗七升六合原價七萬九千三百零四圓六拾七錢四厘交換拂石高壹萬三千三百九拾三石六斗四升九合原價六萬三千九百九拾九圓八拾四錢六厘分割拂石高三千七百三拾九石貳斗壹合原價壹萬三千六百三拾九圓四拾四錢七厘ヲ扣除スレハ木期末尾ノ有石高拾九萬四千九百九拾壹石六斗六升四合原價六拾四萬貳千三百三圓貳拾五錢九厘ナリ即チ第九號表ノ如シ

一地租貸與前年度越前高ハ五拾八萬六千四百四圓三拾六錢五厘貸與貳萬三千七百拾四圓三拾貳錢六厘過誤納下戻三圓四錢壹厘分割受六萬九千九拾三圓八拾壹錢七厘此内返納拾貳萬八千貳百九拾壹圓八拾四錢貳厘賣却貳千五百八拾八圓九拾八錢九厘課拂戻入四錢九厘分拂八百五拾六圓六拾八錢六厘ヲ扣除スレハ木期末尾ノ在高四拾七萬九千七拾七圓九拾八錢三厘ナリ即チ第十號表ノ如シ

第一號

二十年度中央儲蓄金出納表

所	在	前年度越前	收	入	支	出	殘
大藏省	三〇六、九八六、九八八	四、七四八、八九〇	六、一八三、八〇八	三、四一七、六五三、〇八〇			
殘額内譯表							
現	金	米	穀	預	ケ	金	米穀買上代價出
石數	三三、三三〇、六一八			三、三三三、八八五、二七六			
原價	三、九四九、六五二			一、四六三、二八五			
							各所豫借金
							六三、一四八







縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣	廣島縣	山口縣	和歌山縣	德島縣	高知縣	愛媛縣	福岡縣	大分縣	佐賀縣	熊本縣	宮崎縣	鹿兒島縣	總計
1,311,818.55	2,048,345.58	1,512,345.67	1,876,543.21	1,234,567.89	1,987,654.32	1,456,789.01	1,765,432.10	1,321,098.76	1,654,321.09	1,543,210.98	1,432,109.87	1,321,098.76	1,210,987.65	1,109,876.54	1,098,765.43	10,987,654.32
1,311,818.55	2,048,345.58	1,512,345.67	1,876,543.21	1,234,567.89	1,987,654.32	1,456,789.01	1,765,432.10	1,321,098.76	1,654,321.09	1,543,210.98	1,432,109.87	1,321,098.76	1,210,987.65	1,109,876.54	1,098,765.43	10,987,654.32
1,311,818.55	2,048,345.58	1,512,345.67	1,876,543.21	1,234,567.89	1,987,654.32	1,456,789.01	1,765,432.10	1,321,098.76	1,654,321.09	1,543,210.98	1,432,109.87	1,321,098.76	1,210,987.65	1,109,876.54	1,098,765.43	10,987,654.32

二十九年度府縣備荒儲蓄金收支増減表

第三號

科 目	本年 度		前年 度		比 率	増 減
	支 出	部	支 出	部		
前年度越商	1,000,000.00	1,000,000.00	900,000.00	900,000.00	111.11%	100,000.00
公 儲 金	500,000.00	500,000.00	450,000.00	450,000.00	111.11%	50,000.00
配 付 金	300,000.00	300,000.00	280,000.00	280,000.00	107.14%	20,000.00
中央補助金	200,000.00	200,000.00	170,000.00	170,000.00	117.65%	30,000.00
公儲金被領補充	100,000.00	100,000.00	90,000.00	90,000.00	111.11%	10,000.00
益 金	50,000.00	50,000.00	40,000.00	40,000.00	125.00%	10,000.00
地租貸與返納	30,000.00	30,000.00	25,000.00	25,000.00	120.00%	5,000.00
雜 收	20,000.00	20,000.00	15,000.00	15,000.00	133.33%	5,000.00
寄 附 金	10,000.00	10,000.00	8,000.00	8,000.00	125.00%	2,000.00
分 割 受	5,000.00	5,000.00	4,000.00	4,000.00	125.00%	1,000.00
合 計	1,000,000.00	1,000,000.00	900,000.00	900,000.00	111.11%	100,000.00
科 目	本年 度	前年 度	比 率	増 減		
救 助 費	500,000.00	450,000.00	111.11%	50,000.00		
食 料	200,000.00	180,000.00	111.11%	20,000.00		
小 屋 掛 料	100,000.00	90,000.00	111.11%	10,000.00		
農 具 料	50,000.00	45,000.00	111.11%	5,000.00		
內 種 穀 料	150,000.00	140,000.00	107.14%	10,000.00		



科目	本年度		前年度		増減
	額	比	額	比	
地租補助	18,113.28		27,700.11		16,050.73
地租貸與	0		6,021.20		6,021.20
避難所諸費	680.95		0		680.95
雜費	0		0		0
儲蓄費	18,000.00		15,000.00		1,000.00
倉庫費	17,121.24		15,000.00		2,121.24
飲用金	10,251.21		10,100.00		151.21
過誤納下戻	5,000.00		0		5,000.00
分割拂	1,230.88		0		1,230.88
合計	58,998.36		68,821.31		10,822.95
現金	1,267,995.77		1,254,982.75		13,013.02
公債證券	10,500,000.00		8,100,000.00		2,400,000.00
米穀	1,900,000.00		7,000,000.00		5,100,000.00
石敢	1,900,000.00		3,766,666.67		1,866,666.67
原價	4,100,000.00		15,533,333.33		11,433,333.33
地租貸與	4,100,000.00		0		4,100,000.00
合計	21,667,995.77		32,434,311.75		10,766,315.98











第五號

二十年度府縣備荒儲蓄現金支出及現在金內譯表

府縣名	救助費	地租貸與	儲蓄費	倉庫費	米穀買入代	公債代	代價	缺損金	過限納下戻	分割拂合
府 東 區部	39,988	0	0	0	0	0	0	0	0	39,988
府 東 郡部	38,905	0	0	0	0	0	0	0	0	38,905
府 京 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 京 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 大 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 大 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 神 區部	51,950	0	0	0	0	0	0	0	0	51,950
府 神 郡部	49,950	0	0	0	0	0	0	0	0	49,950
府 兵 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 兵 郡部	1,980,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,980,000
府 長 區部	1,252,681	0	0	0	0	0	0	0	0	1,252,681
府 長 郡部	7,747,848	0	0	0	0	0	0	0	0	7,747,848
府 新 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 新 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 群 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 群 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 千 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 千 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 茨 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 茨 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 栃 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 栃 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 奈 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 奈 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 三 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 三 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 愛 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 愛 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 靜 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 靜 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 滋 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 滋 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 岐 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 岐 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 長 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 長 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 宮 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 宮 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 巖 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 巖 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 青 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 青 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 秋 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 秋 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 石 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 石 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 島 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 島 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 岡 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 岡 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 廣 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 廣 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 山 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 和 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 和 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 德 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 德 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 高 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 高 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 愛 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 愛 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 福 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 大 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 大 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 佐 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 佐 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 熊 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 熊 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 宮 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 宮 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 鹿 區部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 鹿 郡部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府 鹿 總計	9,445,452	0	0	0	0	0	0	0	0	9,445,452
府 總計	30,192,281	0	0	0	0	0	0	0	0	30,192,281

備考 本表救助費三拾万九千九百六拾四圓貳拾八錢壹厘ヲ第三號救災補助費及七號救災補助費及七號救災補助費三拾万貳千五百九拾陸圓九錢六厘ニ對比セテ五厘ノ減少アルハ第九號救災補助費救助六百貳拾六圓九拾陸錢五厘ヲ扣除シタルニ由ル







二十年度府縣備荒儲蓄金罹災賑給一覽表

府縣名	二十年度府縣備荒儲蓄金罹災賑給一覽表										
	水災救助	火災救助	風災救助	旱災救助	雪災救助	雹災救助	震災救助	崩災救助	蟻災救助	疫災救助	霜災救助
東京府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
京都府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
大阪府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
神奈川縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
兵庫縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
長崎縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
新潟縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
埼玉縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
群馬縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千葉縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
茨城縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
栃木縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
奈良縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三重縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
愛知縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
静岡縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
山梨縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
滋賀縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
岐阜縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
長野縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
福島縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
宮城縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
巖手縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
青森縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
秋田縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
山形縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
石川縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
福井縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
富山縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
鳥取縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
島根縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
岡山縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇































府縣名	額面	
	原積	前年度越前
東府	九八、八八五、〇〇〇	二六、三五〇、〇〇〇
京府	九三、五二一、五七一	二六、六三三、五七五
大府	一〇〇、七〇〇、〇〇〇	三三、一〇〇、〇〇〇
神奈川縣	九三、八〇〇、〇〇〇	二五、五九〇、〇七五
兵庫縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
京都府	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
大阪府	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
奈良縣	九〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
長崎縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
新潟縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
埼玉縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
群馬縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
千葉縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
茨城縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
栃木縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
奈良縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
三重縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
愛知縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
知縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
靜岡縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
山梨縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
滋賀縣	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇















二十年度府縣備荒儲蓄米穀出納表

府縣名	收			入			支			出							
	原價	前年度越商購	入	入	却	交換受	分割受	賣	却		缺	減	救	助	買	却	換
京都府 都部	八,一七七,九九九	〇	〇	五,九三三,〇一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八,一七七,九九九	〇	〇	〇
大阪府 都部	五,一三三,三〇一	〇	〇	五,一三三,三〇一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五,一三三,三〇一	〇	〇	〇
大阪府 區部	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
大阪府 郡部	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
長崎縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
新潟縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
埼玉縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
栃木縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
奈良縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
静岡縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
山梨縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
滋賀縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
長野縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
宮城縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
福島縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
巖手縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
秋田縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
山形縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
福井縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
富山縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
鳥取縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
島根縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
岡山縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇
山口縣	一,一〇八,六二五	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一,一〇八,六二五	〇	〇	〇

明治二十二年五月 東京 大藏省第四十二號



















○大藏省告示第四十四號

兵庫外七縣管内國庫金出納所名出納區域及出納所所在地名ノ内左ノ通改正ス  
明治二十二年五月二十一日 大藏大臣伯爵松方正義

縣名	改正ノ部		縣名	改正ノ部	
	出納區域名	出納所名		出納區域名	出納所名
兵	加古川	掃部國加古郡加古川町	寺家	掃部國加古郡寺家町	
	高岡	同國前四郡高岡村	手野	同國前四郡下手野村	
	赤穂	同國赤穂郡赤穂町	加里屋	同國赤穂郡加里屋町	
	斑鳩	同國丹波郡斑鳩村	鶴	同國丹波郡鶴村	
	田原	同國神戶郡田原村	西田原	同國神戶郡西田原村	
	二三分	但馬國七美郡二三分村	村岡	但馬國七美郡村岡町	
	浦和	武藏國北足立郡浦和町	浦和	武藏國北足立郡浦和町	
	忍	同國北埼玉郡忍町	忍	同國北埼玉郡成田町	
	熊谷	同國大里郡熊谷町	熊谷	同國大里郡熊谷町	
	水庄	同國兒玉郡水庄町	水庄	同國兒玉郡水庄町	
玉	大宮	同國秩父郡大宮町	大宮	同國秩父郡大宮町	
	杉戸	同國北葛飾郡杉戸町	杉戸	同國北葛飾郡浦地村	
	神川	上野國南甘樂郡神川村	萬場	上野國南甘樂郡萬場町	

千		葉		三		Ⅲ	
二川	上野國武藏郡二川村	柴山	上野國武藏郡柴山村	水更津	同國室津郡水更津村	水更津	同國室津郡水更津村
松戸	下總國東葛飾郡松戸町	松戸	下總國東葛飾郡松戸町	八日市	同國匝埴郡八日市村	八日市	同國匝埴郡八日市村
福岡	同國匝埴郡福岡町	福岡	同國匝埴郡福岡町	前原	安房國長狹郡前原村	前原	安房國長狹郡前原村
鴨川	安房國長狹郡鴨川町	鴨川	安房國長狹郡鴨川町	北條	同國安房郡北條村	北條	同國安房郡北條村
四日市	伊勢國三重郡四日市町	四日市	伊勢國三重郡四日市町	龜山	同國鈴鹿郡龜山町	龜山	同國鈴鹿郡龜山町
桑名	同國桑名郡桑名町	桑名	同國桑名郡桑名町	越原	同國員辨郡越原村	越原	同國員辨郡越原村
大泉原	同國員辨郡大泉原村	大泉原	同國員辨郡大泉原村	久居	同國一志郡久居町	久居	同國一志郡久居町
白子	同國香取郡白子町	白子	同國香取郡白子町	松阪	同國飯高郡松阪町	松阪	同國飯高郡松阪町
山田	同國度會郡山田町	山田	同國度會郡山田町	尾鷲	紀伊國北牟婁郡尾鷲町	尾鷲	紀伊國北牟婁郡尾鷲町
尾鷲	紀伊國北牟婁郡尾鷲町	尾鷲	紀伊國北牟婁郡尾鷲町	水本	同國南牟婁郡水本村	水本	同國南牟婁郡水本村
島羽	志摩國志摩郡島羽町	島羽	志摩國志摩郡島羽町	上野	伊賀國阿拜郡上野町	上野	伊賀國阿拜郡上野町
名張	同國名張郡名張町	名張	同國名張郡名張町	名張	同國名張郡名張町	名張	同國名張郡名張町







明治二十二年五月二十二日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○內務省告示第十四號

明治二十二年第二回醫術開業試驗舉行ノ地方及ヒ其期日左ノ通相定ム  
但長崎ニ於テハ齒科開業試驗ヲ舉行セス

明治二十二年五月二十二日

東京府下東京 十月一日

京都府下京都 十月二十一日

內務大臣伯耆松方正義

長崎縣下長崎 十月一日

○大藏省告示第四十五號

一金壹千壹萬圓

七分利付金庫公債元金

內金壹萬圓

本年四月大藏省告示第三十六號ニ依リ抽籤ノ分

右金額償還ノ爲メ來月中抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十二年五月二十四日

大藏大臣伯耆松方正義

○逓信省告示第二百二十五號

來六月一日ヨリ下總國香取郡佐原及甲斐國北都留郡猿橋電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但シ當分ノ內歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十二年五月二十四日

佐原郵便電信局

猿橋郵便電信局

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第二百二十六號

清國天津へ郵便受取所ヲ置キ來ル六月二十日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
但並郵便物ノ受渡ノミ取扱ヒ書留郵便物ハ取扱ハス

明治二十二年五月二十四日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第二百二十七號

今般北海道日高國幌泉郡ノ南端標嶽崎ニ建設シタル燈臺ニ於テ第一等回轉白色ノ燈明ヲ設ケ明治二十二年六月二十五日以後毎夜日没ヨリ日出マテ點火ス

一該燈臺ノ位置ハ水路部出版第四百一十一號ノ海圖ニ據レハ大約北緯四十一度五十五分ニシテ、グリ

非ニツチヨリ東經百四十三度十四分ニ當ル

一該燈臺ハ鐵造圓形白色ニシテ基礎ヨリ燈火マテ高サ二丈七尺ナリ

一該燈火ハ眞方位北十度三十分東ヨリ北四十九度三十分西マテ三百度間ニ於テ半分時毎ニ一閃光ヲ發ス

一該燈火ハ水面ヨリ高サ二十三丈三尺其光達距離ハ晴天ノ夜二十一海里トス

明治二十二年五月二十四日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○內務省告示第十五號

一西野文太郎略傳 一枚

神田東龍岡町十九番地四具組之助發行

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十二年五月二十五日

內務大臣伯耆松方正義

○逓信省告示第二百二十八號

明治二十二年五月 官報 逓信省第二百二十六號 第四百二十七號 第四百二十八號 內務省第十五號







總計	府 守 縣										衛			
	保		世		佐		吳		賀		須		積	
	小計	火夫	水兵	火夫	水兵	火夫	水兵	火夫	水兵	火夫	水兵	小計	工兵	
計	四十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四十七	五十一	〇	
計	四百九十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四百九十五	五百一	〇	
計	二百六十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二百六十五	二百九十四	〇	
計	二百三十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二百三十八	二百三十三	〇	
計	二百六十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二百六十六	二百四十三	〇	
計	三百〇六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三百〇六	三百〇三	〇	
計	二百五十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二百五十五	二百〇三	〇	
計	千八百二十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	千八百二十五	千五百二十	〇	

○遞信省告示第三百三十號  
 越前國坂井郡泥原新保浦郵便貯金預所ヲ新保村郵便貯金預所ト改稱ス  
 明治二十二年五月二十八日  
 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○內務省告示第十七號  
 一刊行 日本之政黨 一册  
 日本橋區本石町一丁目二十五番地須原鐵二方寄附內務省三郎發行

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス  
 明治二十二年五月二十九日  
 內務大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第四十六號  
 明治二十一年十一月六日勅令第七十四號五錢白銅貨ノ備ハ來ル六月一日ヨリ發行ス  
 明治二十二年五月二十九日  
 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第四十七號  
 一租稅監査印章 照合用三字朱印 第一四〇二九號 一枚  
 岡山縣下美作國西北條郡津山田町外三箇町戶長役場備置ノ分  
 右紛失ノ旨岡山縣ヨリ届出候條發見ノ節ハ該地方屬ヘ送致スヘシ於該屬ハ其旨當省ヘ届出ヘシ  
 明治二十二年五月二十九日  
 大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第六號  
 明治十九年中佐賀始審裁判所ニ於テ刑事ニ關シ領置シタル金額有之候條右下渡ヲ請フモノハ事由ヲ證明シ來ル八月三十一日迄ニ同裁判所ヘ申出ツヘシ  
 明治二十二年五月二十九日  
 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第七號  
 福岡始審裁判所管内福岡縣筑後國三潯郡新田村及同郡紅粉屋村明治十八年三月ヨリ同年十二月ニ至ル建物船舶賣買讓與記載帳一册元稅津登記所ニ於テ保管中紛失セシヲ以テ右兩村ノ建物船舶ニシテ右年度中賣買讓與ノ公證ヲ受ケタル者ハ明治二十二年六月十日限更ニ柳河治安裁判所ニ登記ヲ出願スヘシ  
 明治二十二年五月 告示 大藏省第四十六號 第四十七號 司法省第六號 第七號



但右期限内ハ紛失セシニ依リ更ニ登記スヘキモノ、外新田村紅粉屋村兩村建物船舶ノ登記ヲ停止ス

明治二十二年五月三十日

司法大臣伯爵山田顯義

○大藏省告示第四十八號  
本年七月一日ヨリ九月三十日迄輸入從價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム

但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通  
明治二十二年六月一日

大藏大臣伯爵松方正義

外國貨幣日本銀貨比較表

外國貨幣	日本銀貨
英 金	六・五六三
獨 逸	三・二一
北米合衆國	一・三五〇
佛 國	二・五九
瑞 士	二・五九
白 耳 義	二・五九
伊 太 利	二・五九
丁 捷 克	三・六〇
瑞 典	三・六〇
瑞 士	三・六〇
和 國	五・四一
西 牙	〇・六七